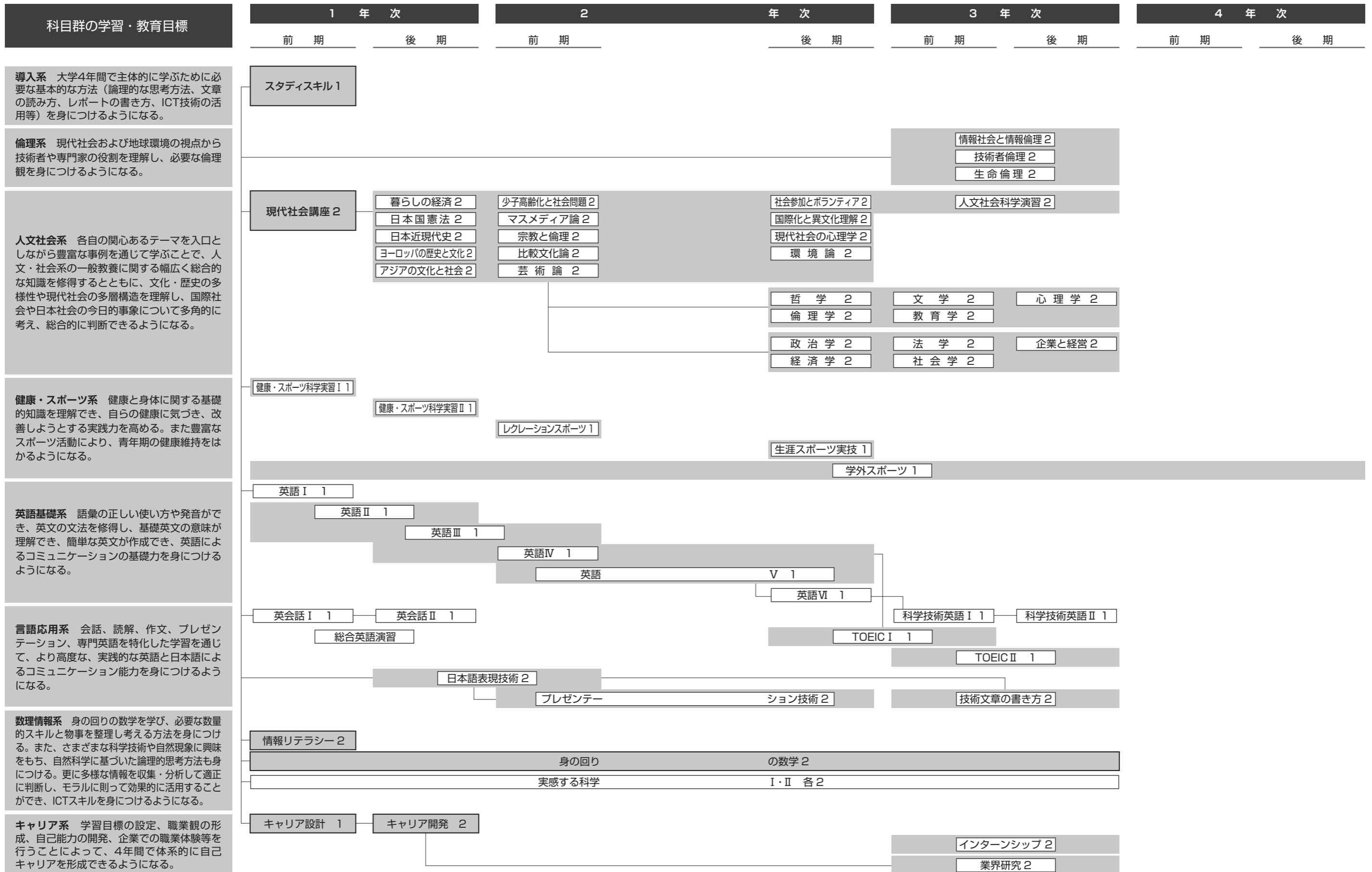
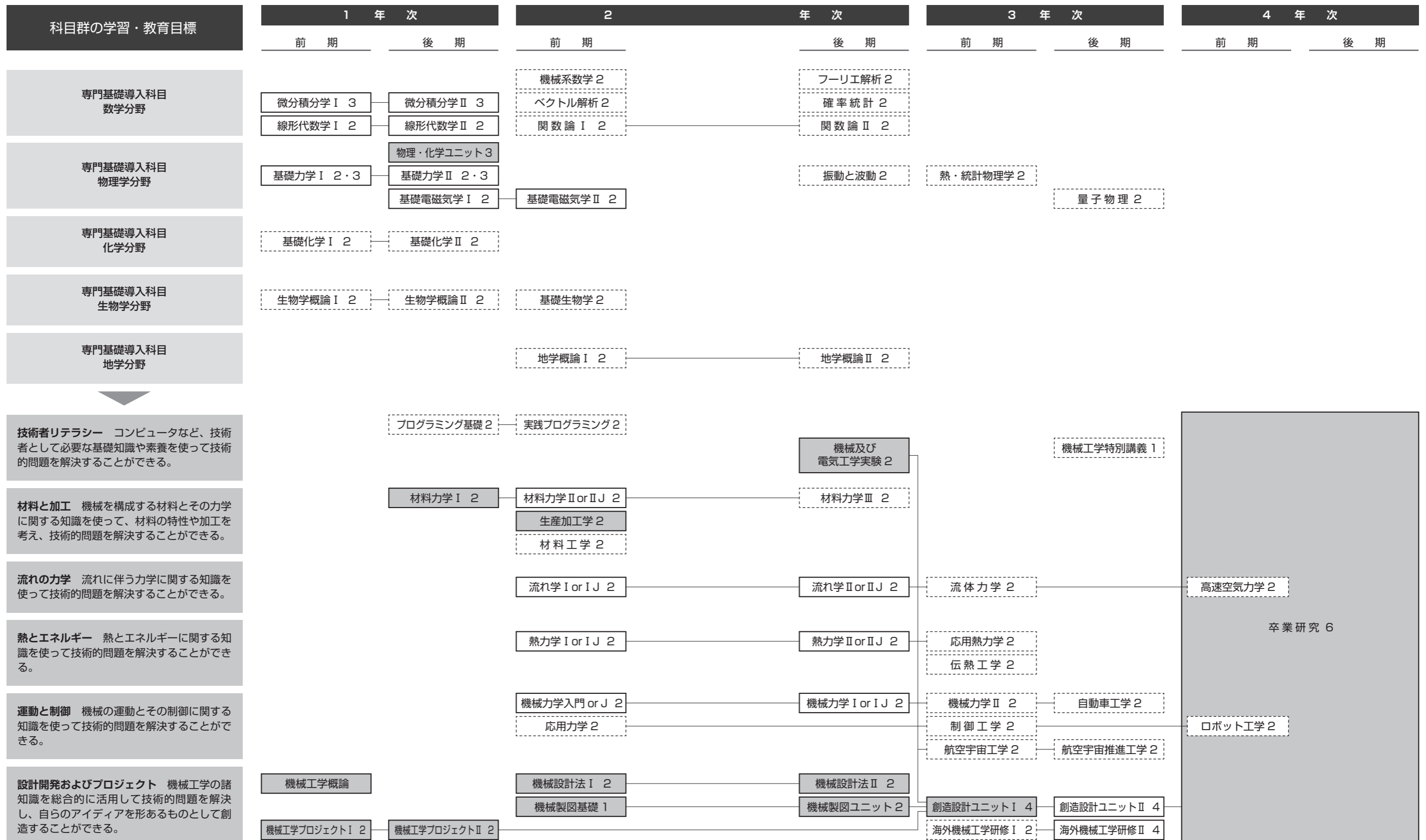


# 共通基盤教育 [カリキュラムツリー]



工学部 機械工学科 [クリエイティブエンジニアコース・カリキュラムツリー] MS

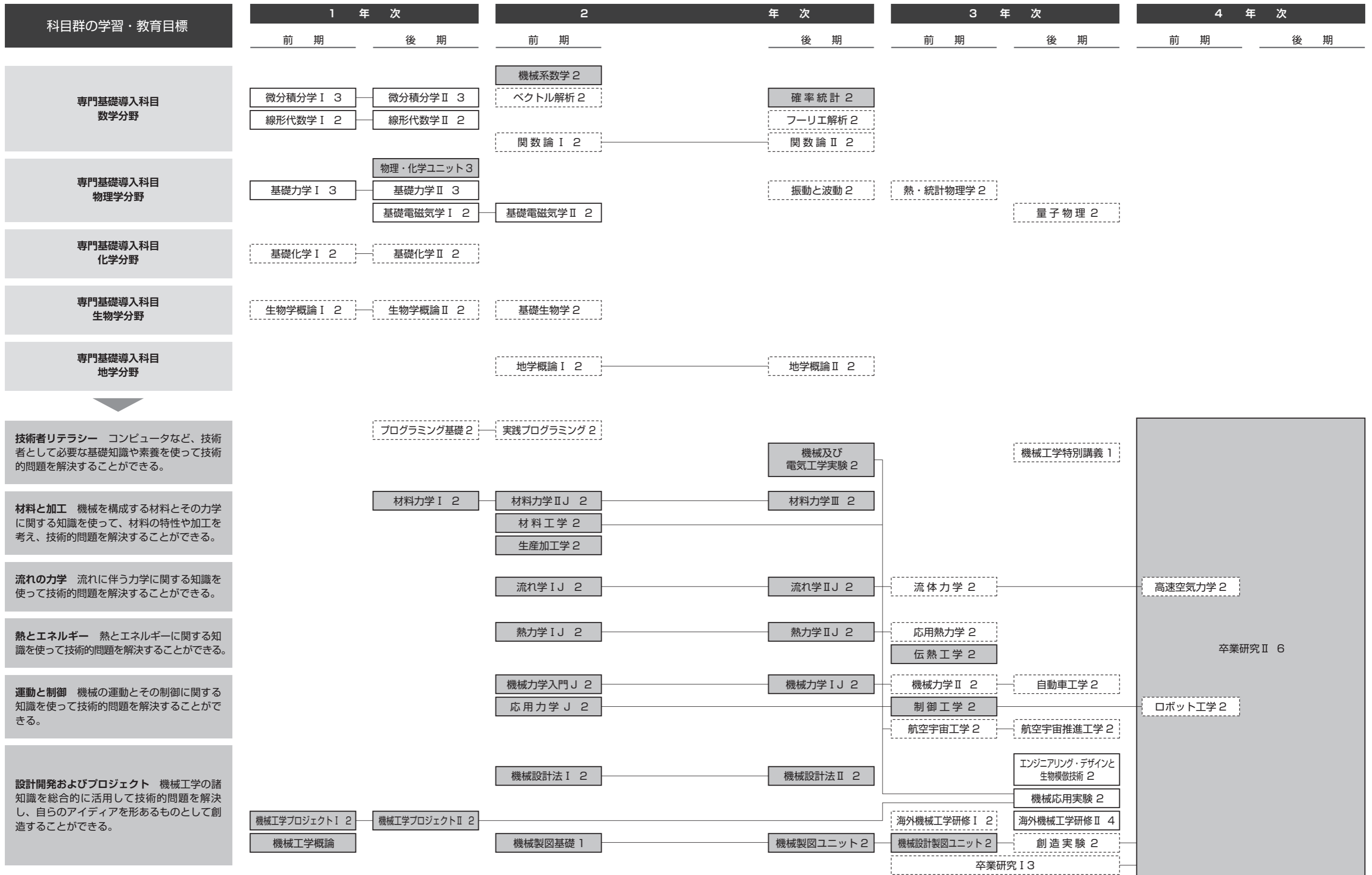
■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



II

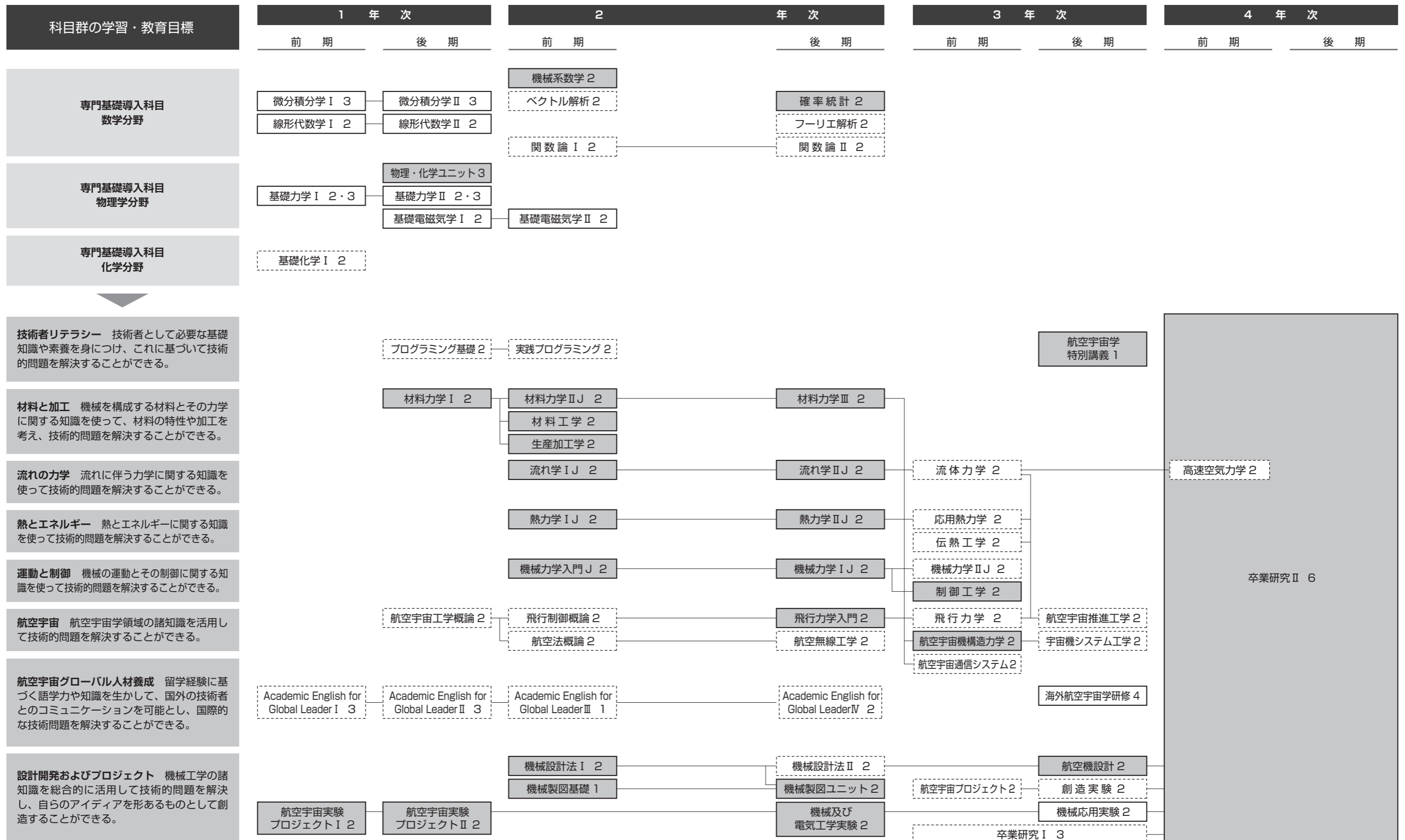
専門教育に関すること

工学部 機械工学科 [クリエイティブエンジニアコース・カリキュラムツリー] MS



工学部 機械工学科 [航空宇宙学専攻・カリキュラムツリー] MF

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



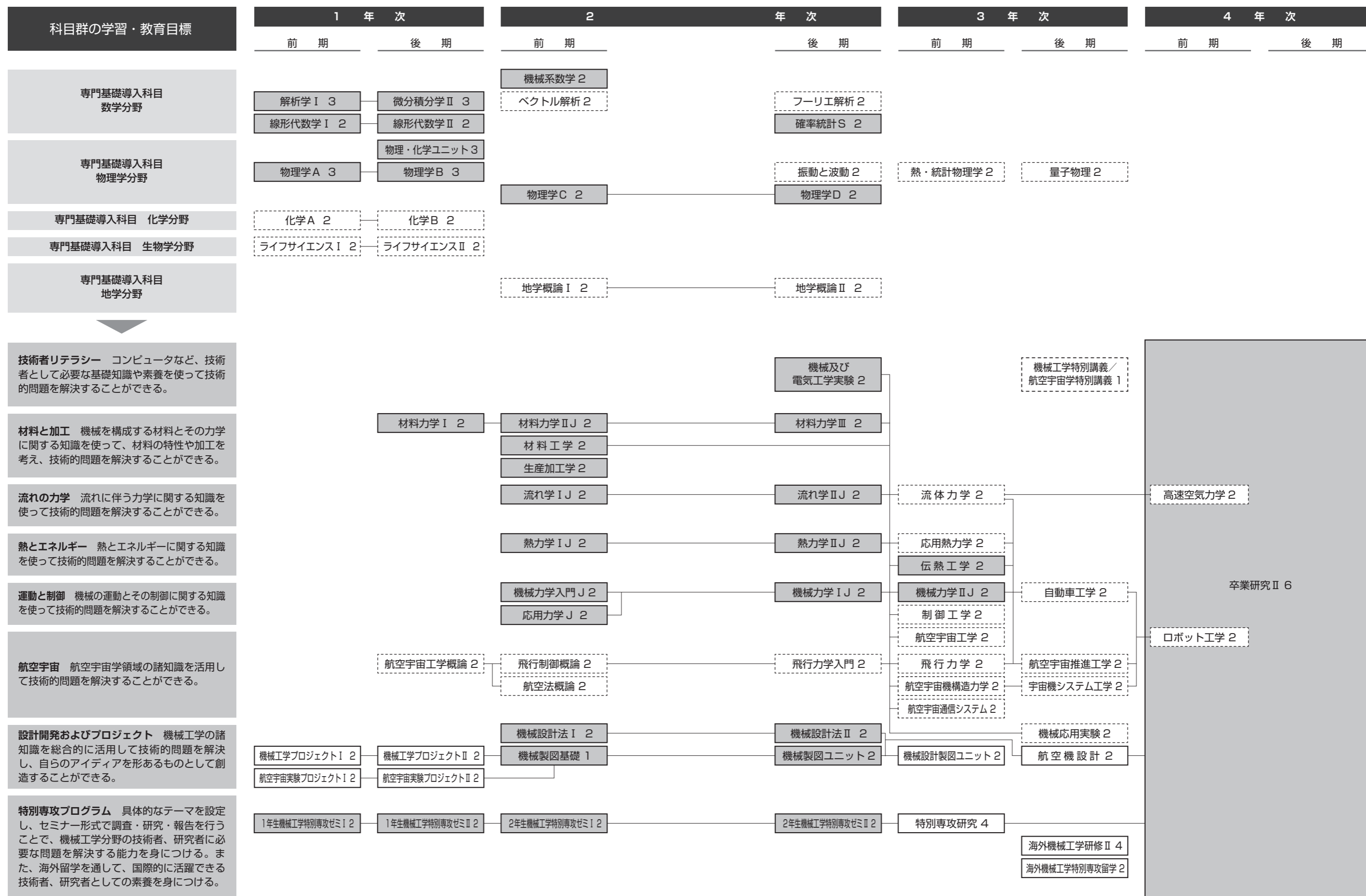
II

専門教育に関すること

工学部 機械工学科 [航空宇宙学専攻・カリキュラムツリー] MF

# 工学部 機械工学科 [機械工学特別専攻・カリキュラムツリー] MT

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



## II

専門教育に関すること

工学部 機械工学科 [機械工学特別専攻・カリキュラムツリー] MT



科目群の学習・教育目標

専門基礎導入科目  
数学分野

専門基礎導入科目  
物理学分野

専門基礎導入科目 化学分野

専門基礎導入科目 生物学分野

電気・電子・情報工学の基礎を身につけ、それらを実際に応用する際の考え方を身につける。

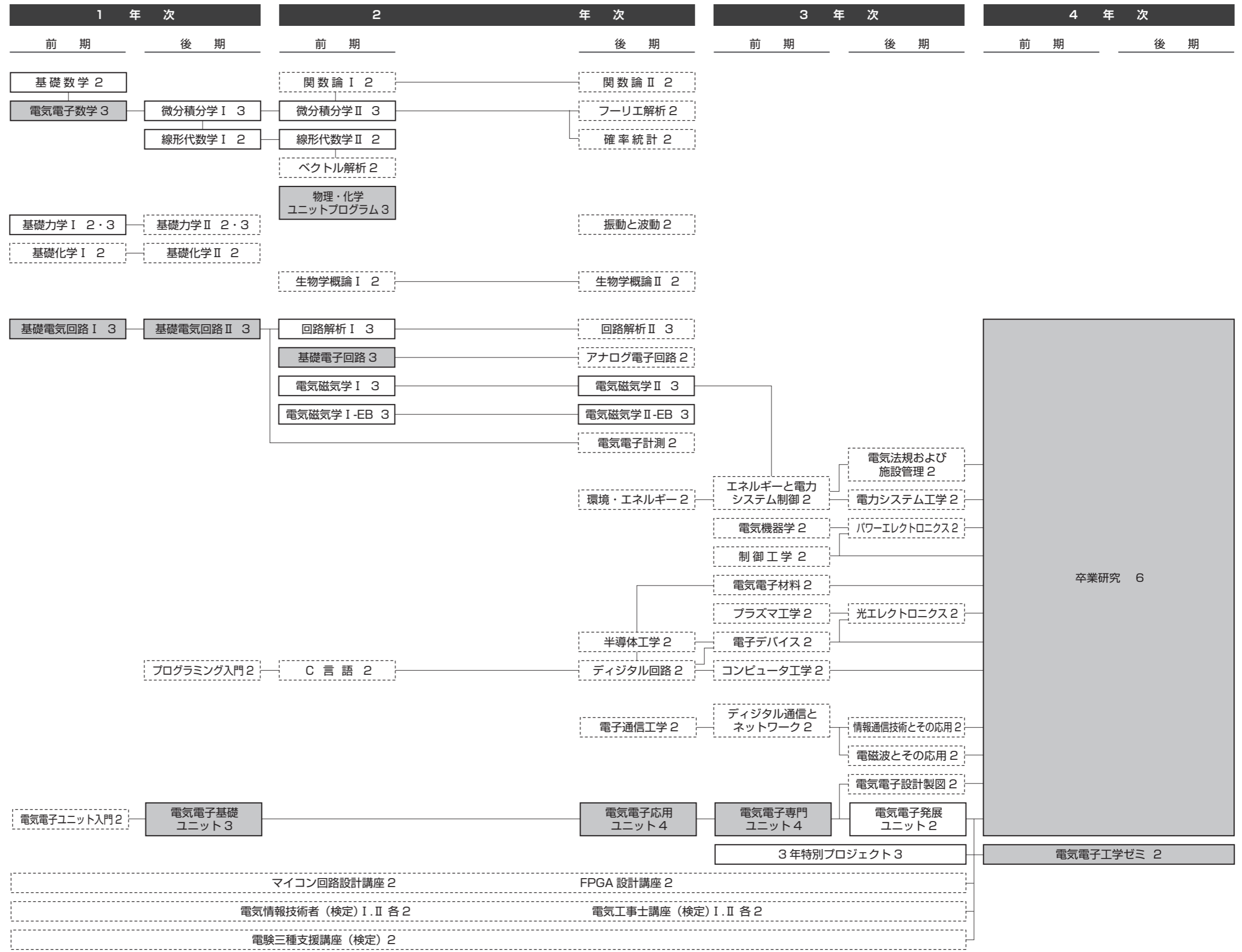
電力・機器・制御 電気エネルギーの発生、伝達、利用に関する技術を学ぶとともに、修得した専門知識を活用して、実際の機器制御技術に適用できるだけでなく、環境とエネルギーの問題なども考慮して総合的に対応できる能力を身につける。

半導体・電子デバイス・光エレクトロニクス 基本デバイスおよび基本回路の動作原理や特性を理解するとともに、回路設計手法の基礎を修得し、回路設計および評価に携わるための素養を身につける。

情報通信・情報処理 情報技術および情報通信ネットワークの基本的事項を理解し、修得した専門知識を活用して、実際の技術に適用する能力を身につける。

自分の考えや成果を明確に相手に伝えるためのプレゼンテーション能力と相手の質問や意見を理解して的確にこたえる能力を身につける。

企画・設計・実行・分析を繰り返し、問題点を明らかにし、技術の進歩に対応できる素養と習慣を身につける。



科目群の学習・教育目標

専門基礎導入科目  
数学分野

専門基礎導入科目  
物理学分野

専門基礎導入科目 化学分野

専門基礎導入科目 生物学分野

電気・電子・情報工学の基礎を身につけ、それらを実際に応用する際の考え方を身につける。

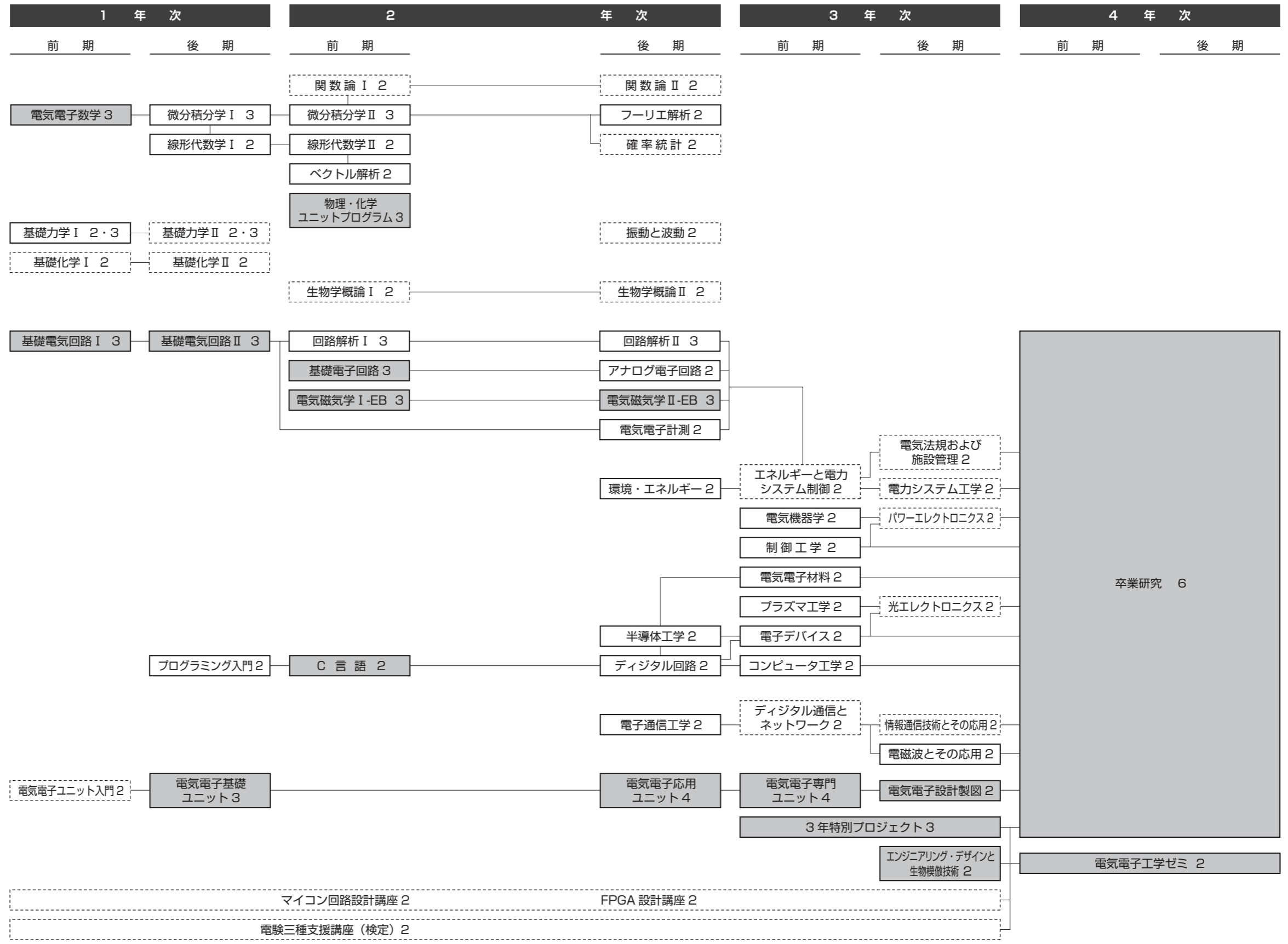
電力・機器・制御 電気エネルギーの発生、伝達、利用に関する技術を学ぶとともに、修得した専門知識を活用して、実際の機器制御技術に適用できるだけでなく、環境とエネルギーの問題なども考慮して総合的に対応できる能力を身につける。

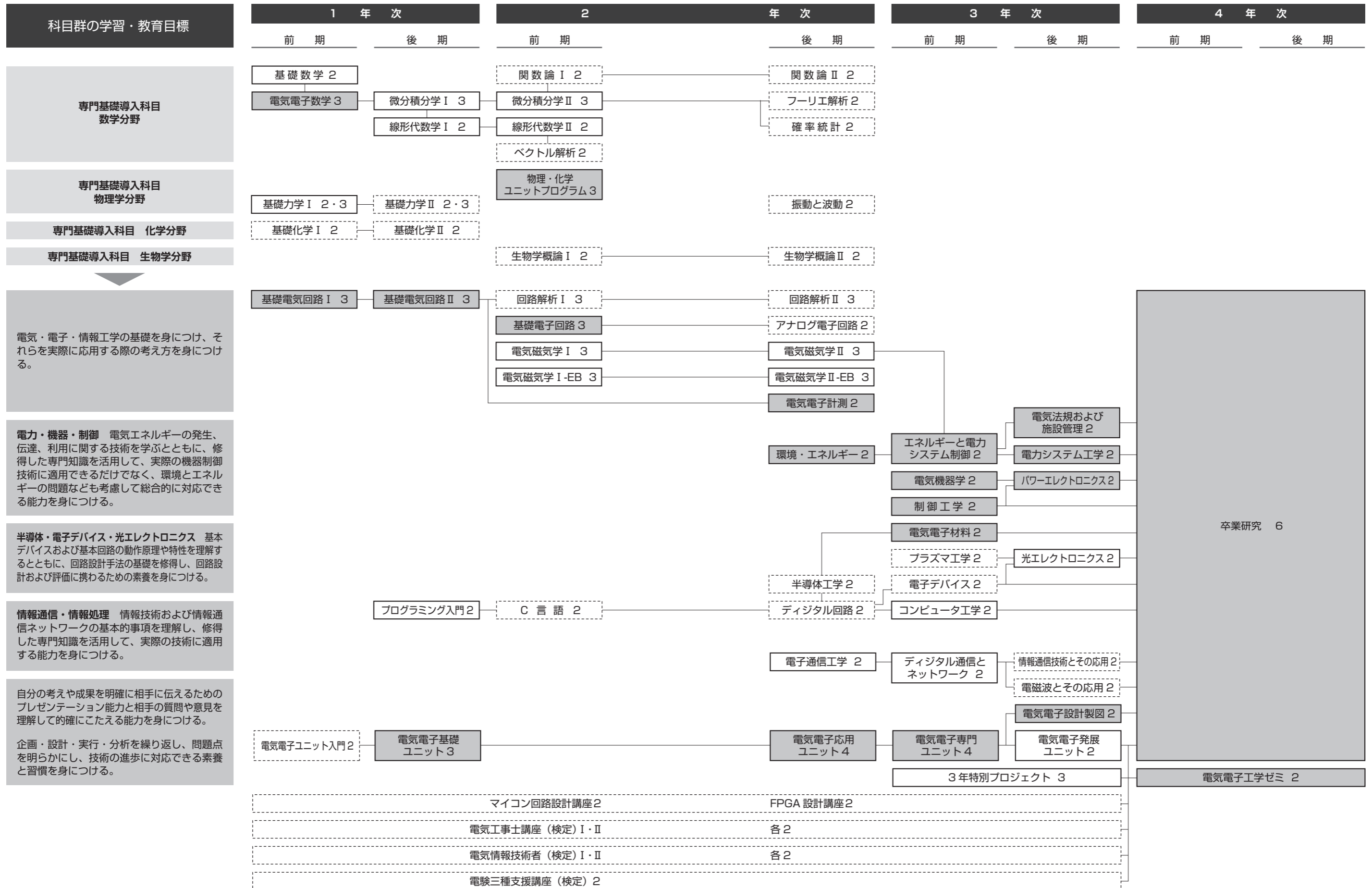
半導体・電子デバイス・光エレクトロニクス 基本デバイスおよび基本回路の動作原理や特性を理解するとともに、回路設計手法の基礎を修得し、回路設計および評価に携わるための素養を身につける。

情報通信・情報処理 情報技術および情報通信ネットワークの基本的事項を理解し、修得した専門知識を活用して、実際の技術に適用する能力を身につける。

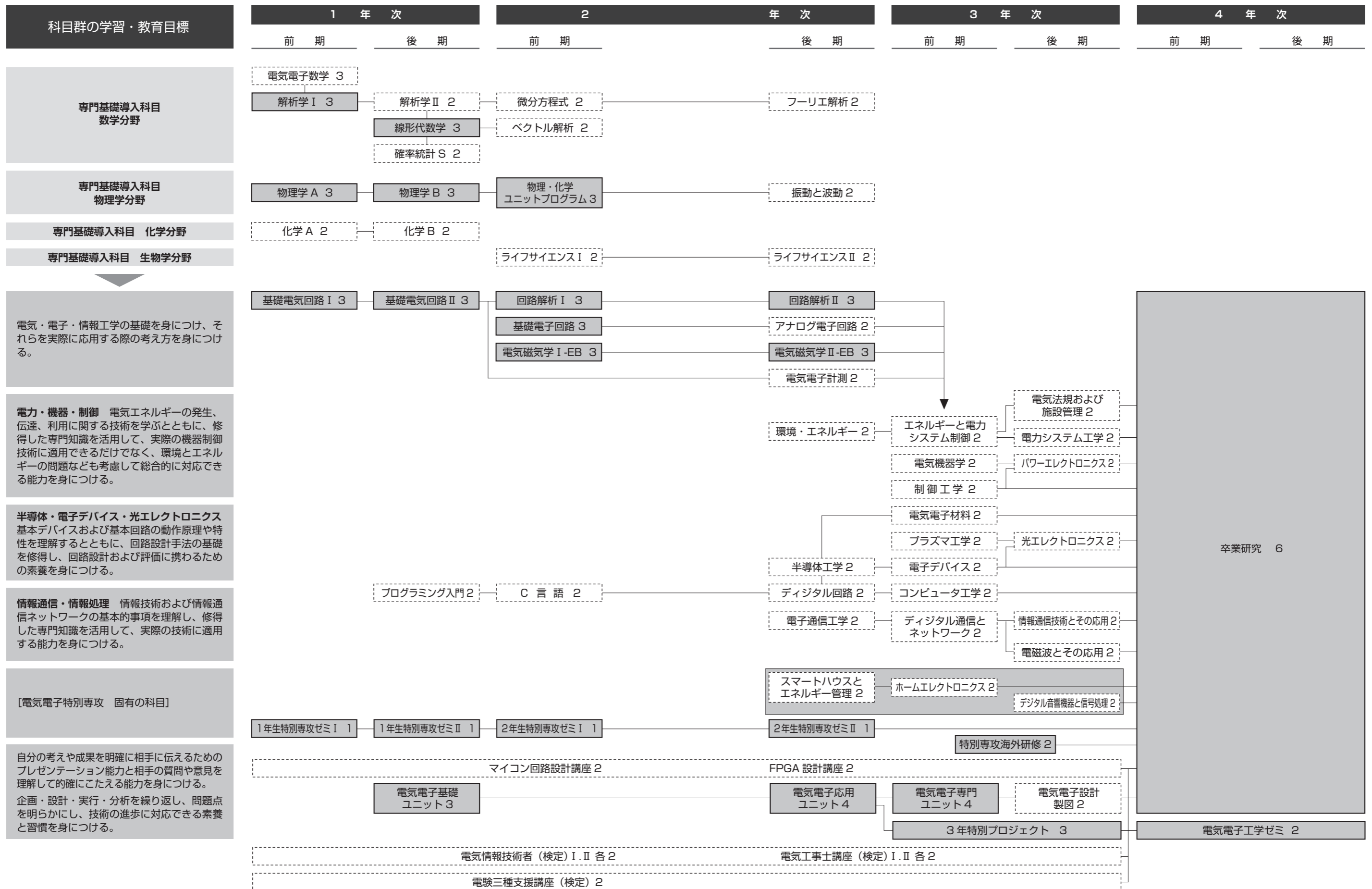
自分の考えや成果を明確に相手に伝えるためのプレゼンテーション能力と相手の質問や意見を理解して的確にこたえる能力を身につける。

企画・設計・実行・分析を繰り返し、問題点を明らかにし、技術の進歩に対応できる素養と習慣を身につける。



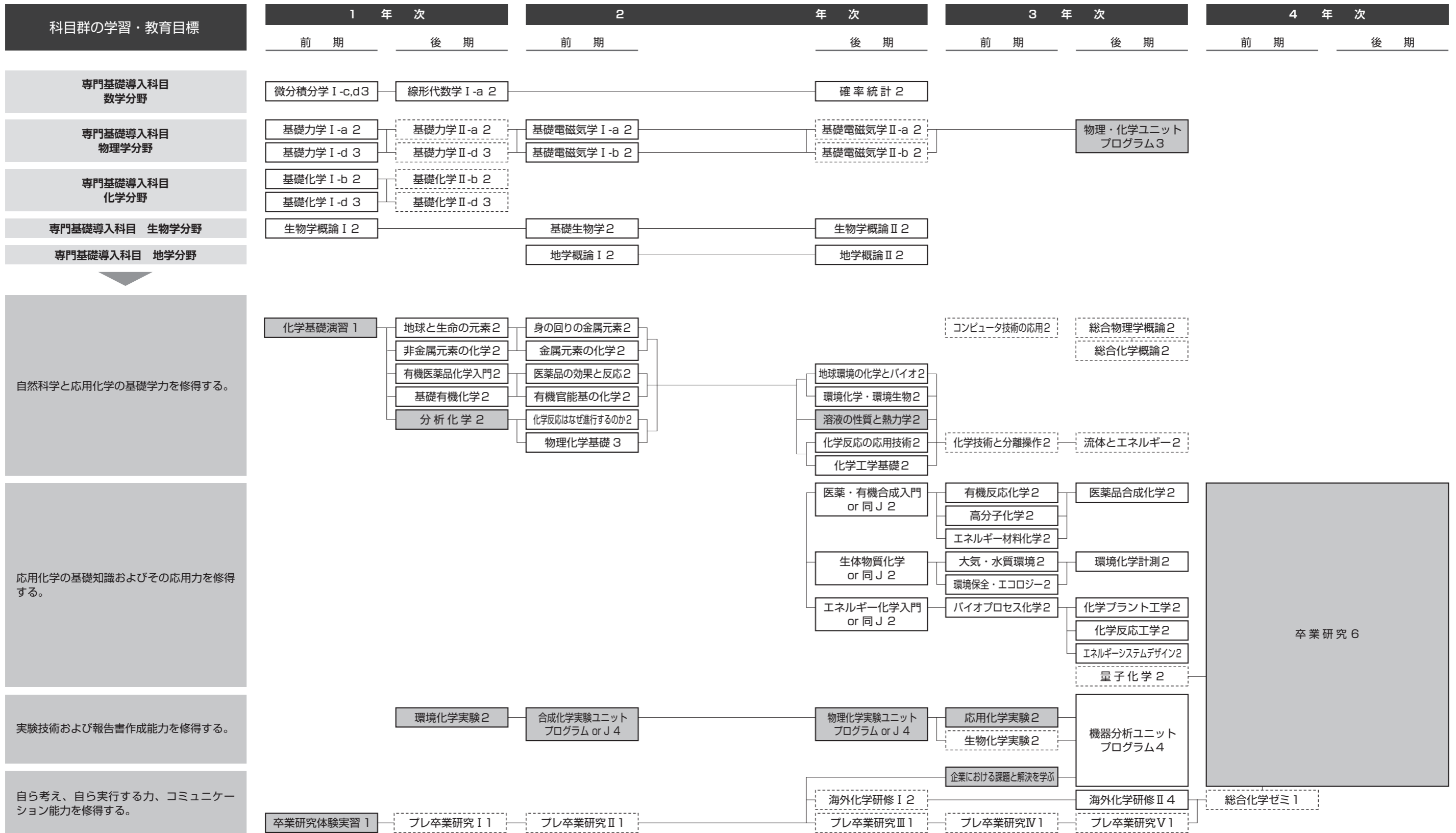






# 工学部 応用化学科 [化学応用コース・カリキュラムツリー] CA

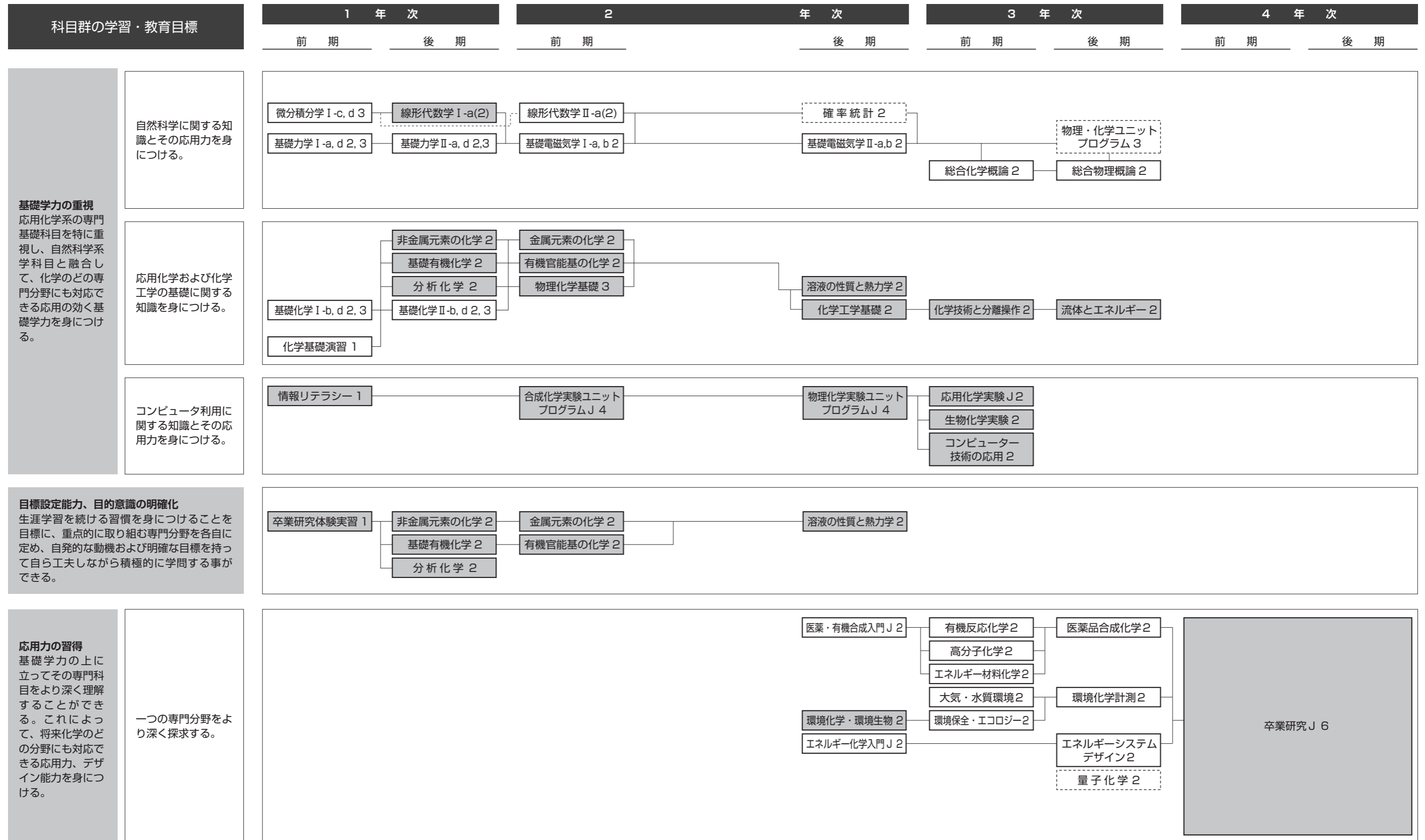
■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



## II

専門教育に関すること

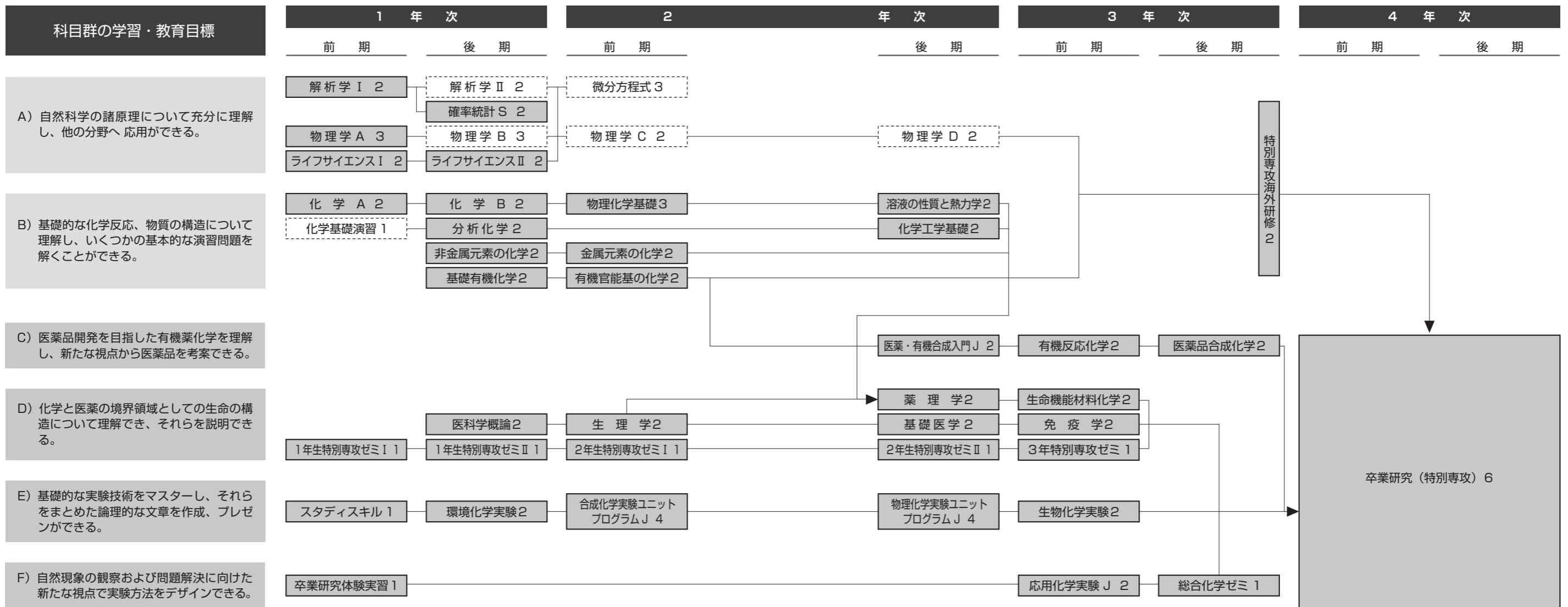
工学部 応用化学科 [化学応用コース・カリキュラムツリー] CA



科目群の学習・教育目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次							
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期						
<p><b>自然現象を科学者の目で見る習慣の習得:</b> 自然現象を種々の角度から見る目、常に新しい視点を求めることは、これを工学的に応用するための素養として不可欠である。自然現象に対する新しい視点の創生を促すとともに、環境保全の心を育み、合わせて発表能力を向上させる。</p> <p><b>地球の視野から物事を捉えつつ、専門的視点から様々な科学現象を観察・理解し新たな視点を考案する事ができる。</b></p>	卒業研究体験実習 1		環境化学実験 2		合成化学実験ユニットプログラム J 4		物理化学実験ユニットプログラム J 4		生物化学実験 2		総合化学ゼミ 1			
	共通基盤教育科目群				人文社会系科目 8				環境論 2		機器分析ユニットプログラム 4			
	共通基盤教育科目群				人文社会系科目 8									
<p><b>技術者としての社会的責任、倫理観の確立:</b> 技術者として自立するために、物質中心の思想から脱却し、科学とその技術が社会や自然環境におよぼす影響について事前に評価し、恒常的に配慮する倫理観を培う。また、教養を身につけ、人間としての正しい生き方を常に模索し、社会人として必要な協調性、他者を思いやる心なども併せて培う。</p> <p><b>科学・技術と社会、自然環境に関する倫理観を学び、それらを実社会に適応できる。</b></p> <p><b>社会人に必要な素養および協調性を身につけ、実践できる。</b></p>	共通基盤教育科目群		共通基盤教育科目群		人文社会系科目 8		環境論 2		技術者倫理 2					
	共通基盤教育科目群				人文社会系科目 8				健康・スポーツ系科目 1					
	共通基盤教育科目群				共通基盤教育科目群									
<p><b>文章表現力、読解力の高揚:</b> 論説的な文章の読み方や報告書の書き方に精通し、各種実験の報告書の作成をすることができる。</p> <p><b>英語力:</b> 語学科目で基礎を培うとともに、その後の専門書の英文の講読および英語文献の読解ができるようになる。</p> <p><b>討論・報告・口頭発表を行うことができ、図表による正しい表現方法を工夫できる。</b></p>	環境化学実験 2		合成化学実験ユニットプログラム J 4		物理化学実験ユニットプログラム J 4		応用化学実験 J 2		機器分析ユニットプログラム 4		総合化学ゼミ 1			
	共通基盤教育科目群				英語基礎系科目、言語応用系科目 9				生物化学実験 2		卒業研究 J 6			
	共通基盤教育科目群				共通基盤教育科目群				機器分析ユニットプログラム 4		総合化学ゼミ 1			
<p><b>目的達成能力、問題発見・解決能力の修得:</b> 設定された目標を計画的に達成する能力、優れた感性とデザイン能力などの総合的能力を修得する。</p> <p><b>多様な人々とともに協力しながら課題をこなすことができる。チームとして必要な相手の立場、文化、背景を理解し、信頼関係を築くことができる。</b></p>	卒業研究体験実習 1		環境化学実験 2		物理化学実験ユニットプログラム J 4		応用化学実験 J 2		エンジニアリング・デザインと生物模倣技術		卒業研究 J 6			
	環境化学実験 2				合成化学実験ユニットプログラム J 4				物理化学実験ユニットプログラム J 4		応用化学実験 J 2		卒業研究 J 6	
									生物化学実験 2		エンジニアリング・デザインと生物模倣技術			
<p><b>チームとして働く習慣の修得</b></p>									応用化学実験 J 2					

工学部 応用化学科 [医生命科学特別専攻・カリキュラムツリー] CT

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



II

専門教育に関すること

工学部 応用化学科 [医生命科学特別専攻・カリキュラムツリー] CT



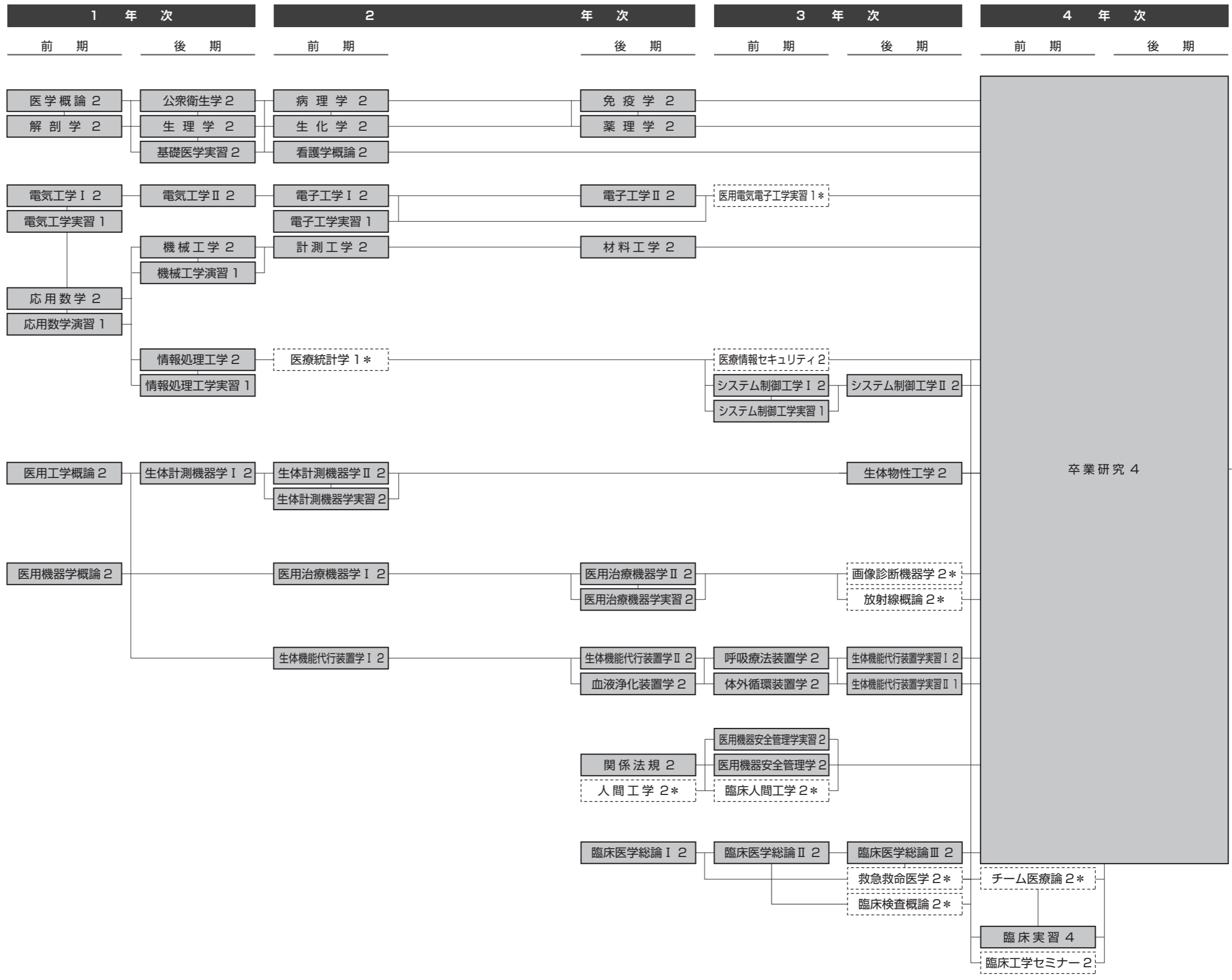
# 工学部 臨床工学科 [カリキュラムツリー]

臨床工学技士の国家試験の受験資格を得るためには\*印の付してある科目を履修しなければならない

■: 必修 □: 選択

## 科目群の学習・教育目標

- 基礎的な医学的知識や、(医学と工学のかかわりについて学習できる。) また、身体的・精神的・社会的に健康な生活を送るための課題や事象、看護の概念や目的・役割・機能について学習できる。
- 電気・電子工学および機械工学分野で扱う基本原理や法則あるいは解析手法を学習できる。また、人工材料の安全性評価、生体計測に必要な計測技術などの基礎を身につける。
- 数値(データ)の統計学的な解析法やシステム制御の基礎理論を学習できる。また、セキュリティ対策や、病院情報システムの基本構造、プログラミング技術を身につける。
- 工学と医学・生物学の境界領域である医用工学や、生体計測装置の原理や得られるデータの特長、物理的エネルギーと生体とのかかわり合いについて学習できる。また、これらの装置の適切な操作と維持・管理を身につける。
- 放射線の取り扱いや、画像診断装置などの医用機器の原理・構造・役割について学習できる。また、各種治療器等の原理・操作・安全管理・保守・点検法を身につける。
- 生命維持装置(血液浄化装置、呼吸療法装置、体外循環装置など)の原理や装置構成・操作方法などを理解し身につける。
- 医療機器の安全管理に関する法令や、安全を確保する要素技術に関して学習できる。また、医療現場の作業環境や安全確保・作業設計などにおいて必要な人間工学の考え方・人的エラーの構造などについて学習できる。
- 臨床医学の知識を学習できる。また、検体の取り扱いに関する注意と安全確保、各種臨床検査用機器の原理や操作法、集中治療医学について学習できる。
- 臨床工学技士に必要な知識や技術・主な業務について、最新の診断技法や治療装置・治療法などを学習できる。

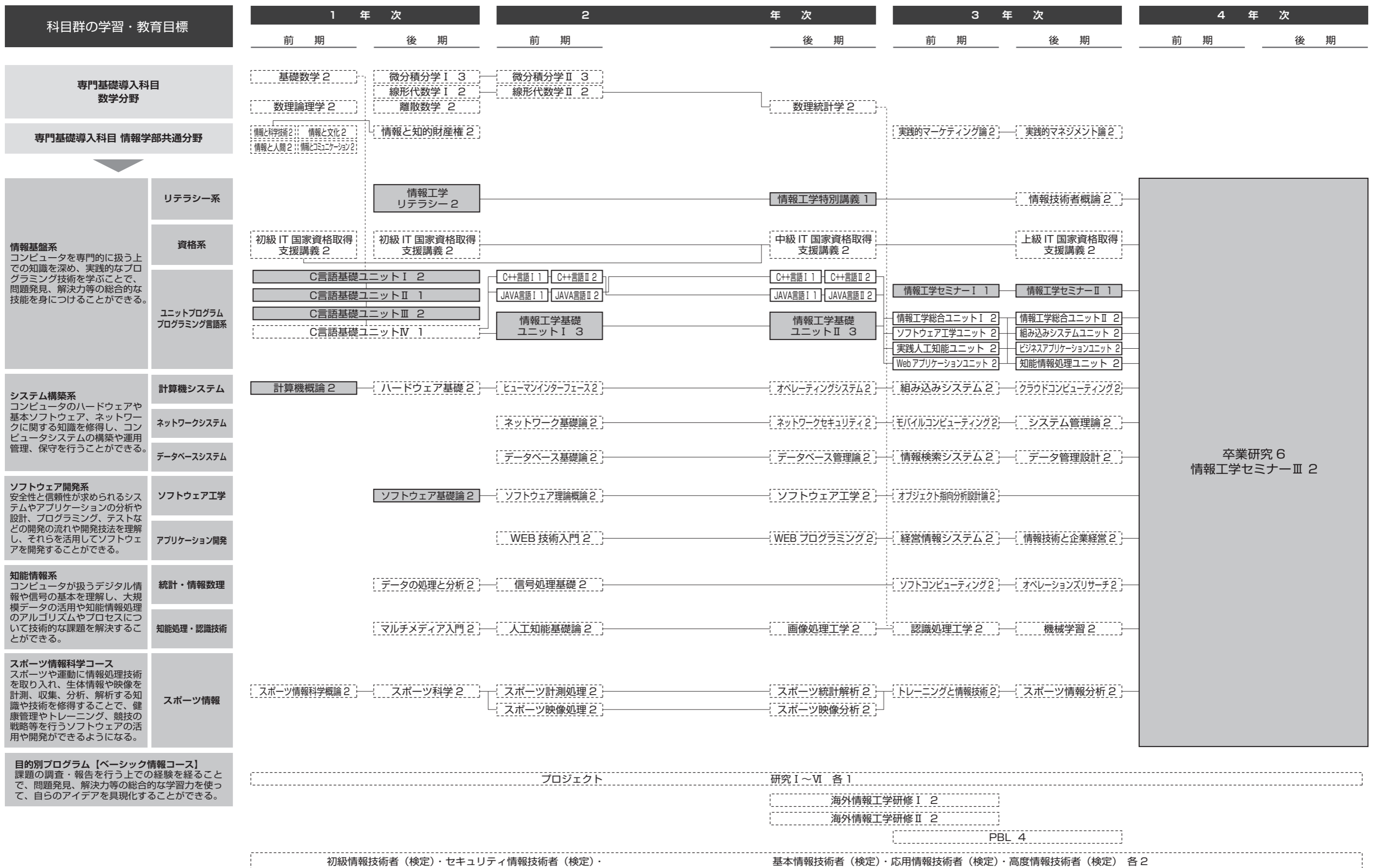


II 専門教育に関すること  
工学部 臨床工学科 [カリキュラムツリー]

卒業(臨床工学技士国家試験受験資格)

# 情報学部 情報工学科 [カリキュラムツリー]

■ : 必修 □ : 選択必修 ▨ : 選択



II

専門教育に関すること

情報学部

情報工学科 [カリキュラムツリー]

# 情報学部 情報工学科 [ICTスペシャリスト特別専攻・カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択

**科目群の学習・教育目標**

**専門基礎導入科目 数学分野**

**専門基礎導入科目 物理学分野**

**専門基礎導入科目 化学分野**

**専門基礎導入科目 生物学分野**

**専門基礎導入科目 情報学部共通分野**

---

**情報基礎系**  
コンピュータを専門的に扱う上での知識を深め、実践的なプログラミング技術を学ぶことで、問題発見、解決力等の総合的な技能を身につけることができる。

**システム構築系**  
コンピュータのハードウェアや基本ソフトウェア、ネットワークに関する知識を修得し、コンピュータシステムの構築や運用管理、保守を行うことができる。

**ソフトウェア開発系**  
安全性と信頼性が求められるシステムやアプリケーションの分析や設計、プログラミング、テストなどの開発の流れや開発技法を理解し、それらを活用してソフトウェアを開発することができる。

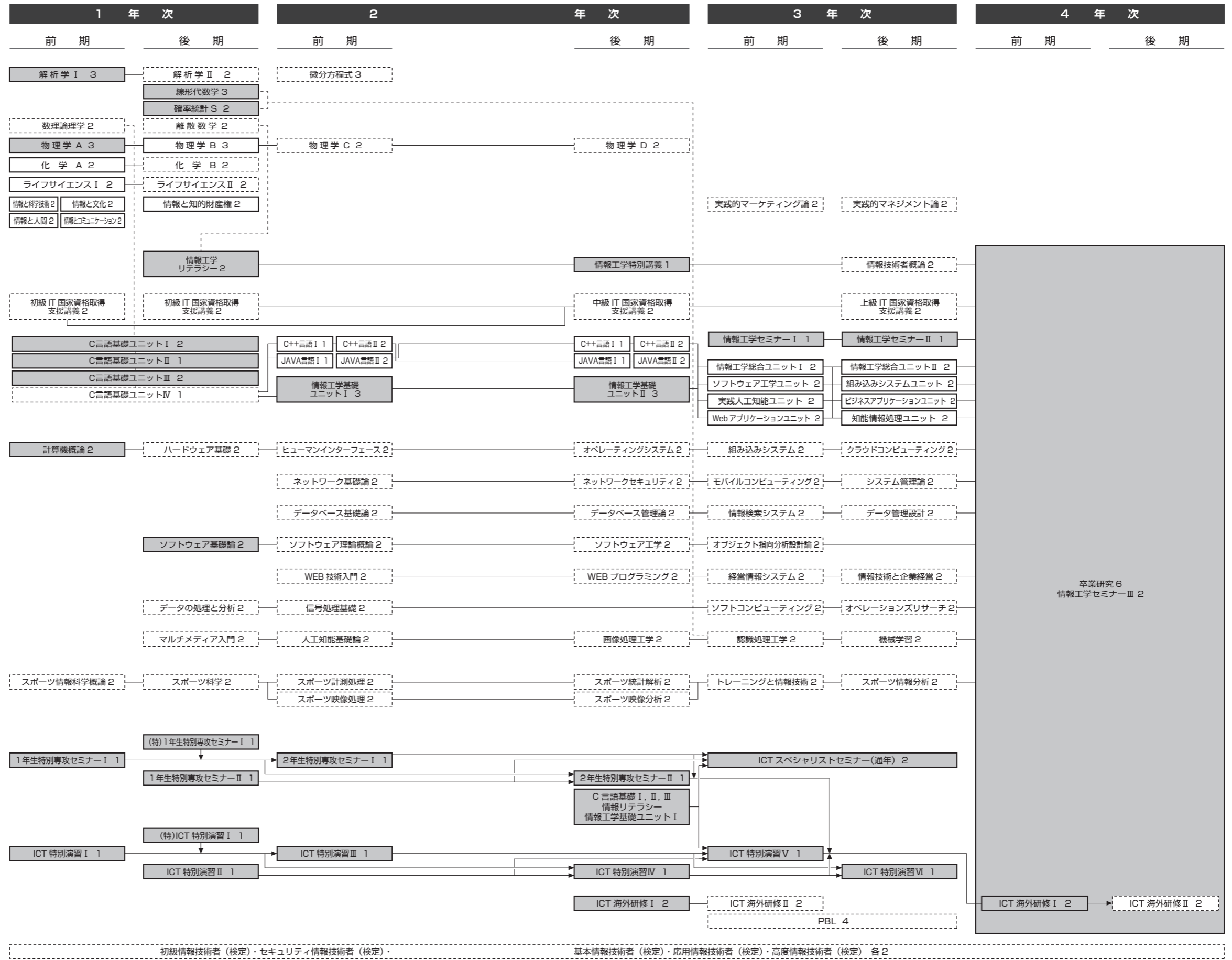
**知能情報系**  
コンピュータが扱うデジタル情報や信号の基本を理解し、大規模データの活用や知能情報処理のアルゴリズムやプロセスについて技術的な課題を解決することができる。

**スポーツ情報科学コース**  
スポーツや運動に情報処理技術を取り入れ、生体情報や映像を計測、収集、分析、解析する知識や技術を修得することで、健康管理やトレーニング、競技の戦略等を行うソフトウェアの活用や開発ができるようになる。

**特別プログラム[特別専攻]** 専門基礎及び専門科目の講義を踏まえ、より高度な内容を演習形式で学び、理解を深めることができる。また、コンピュータ科学の諸分野への見識を高め、興味ある分野に関する具体的なテーマを設定し、セミナー形式で課題の調査・研究・報告などの総合的な学習を行うことにより、技術者・研究者として自らのアイデアで問題を解決する能力を身につけることができる。  
●「(特)ICT特別専攻セミナー」および「(特)ICT特別演習」は、1年後期からICT特別専攻に転入した学生を対象に開講する。  
●「ICT特別演習」は、「プロジェクト研究」による単位認定が可能である。単位認定された場合は「(特)ICT特別演習」の受講は不要である。

**海外実習系[特別専攻]** 専門の実習を通じて、国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につける。

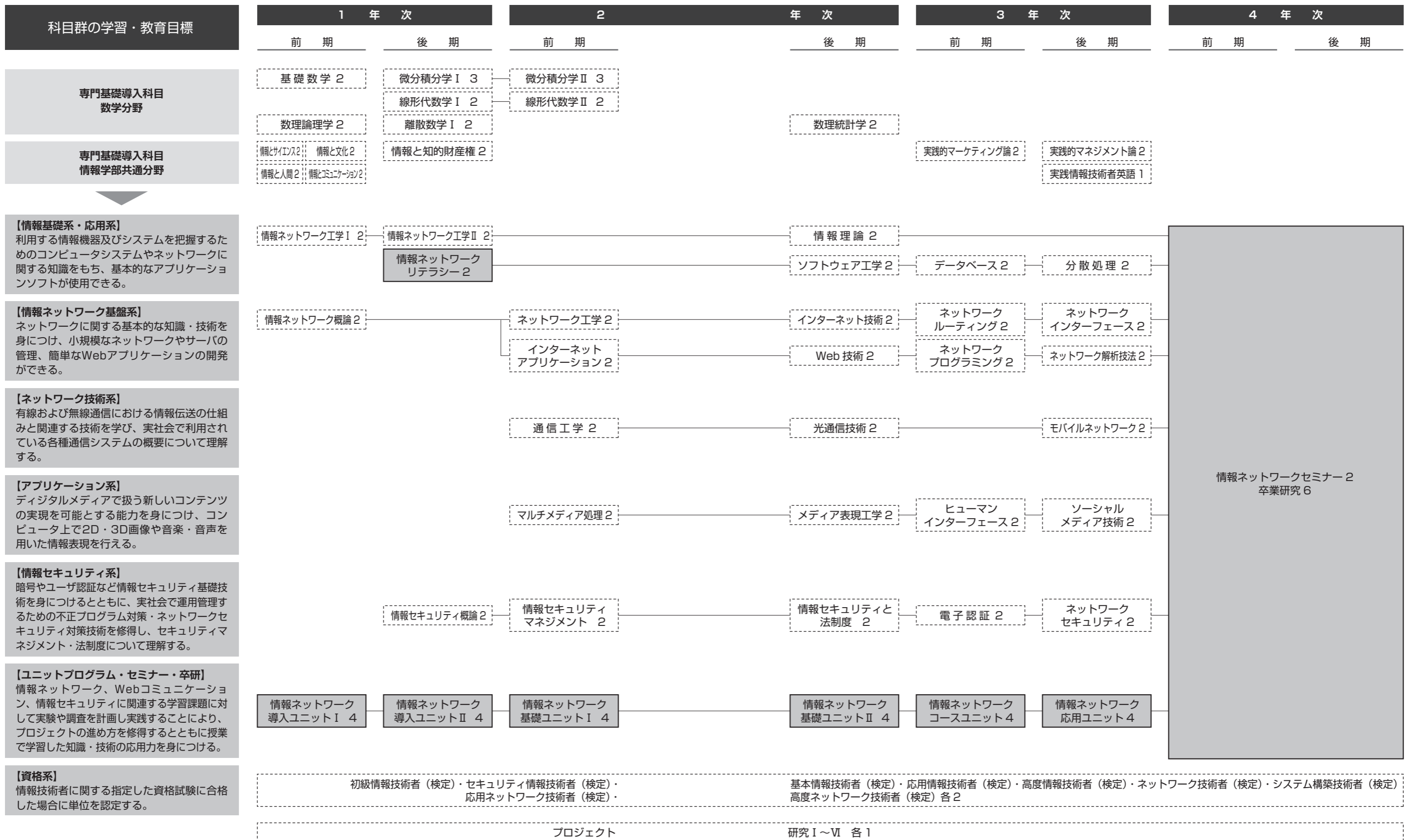
**資格系[検定]** 情報技術者に関する指定した資格試験に合格した場合に単位を認定する。



II 専門教育に関する情報学部 情報工学科 [ICTスペシャリスト特別専攻・カリキュラムツリー]

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 [カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択



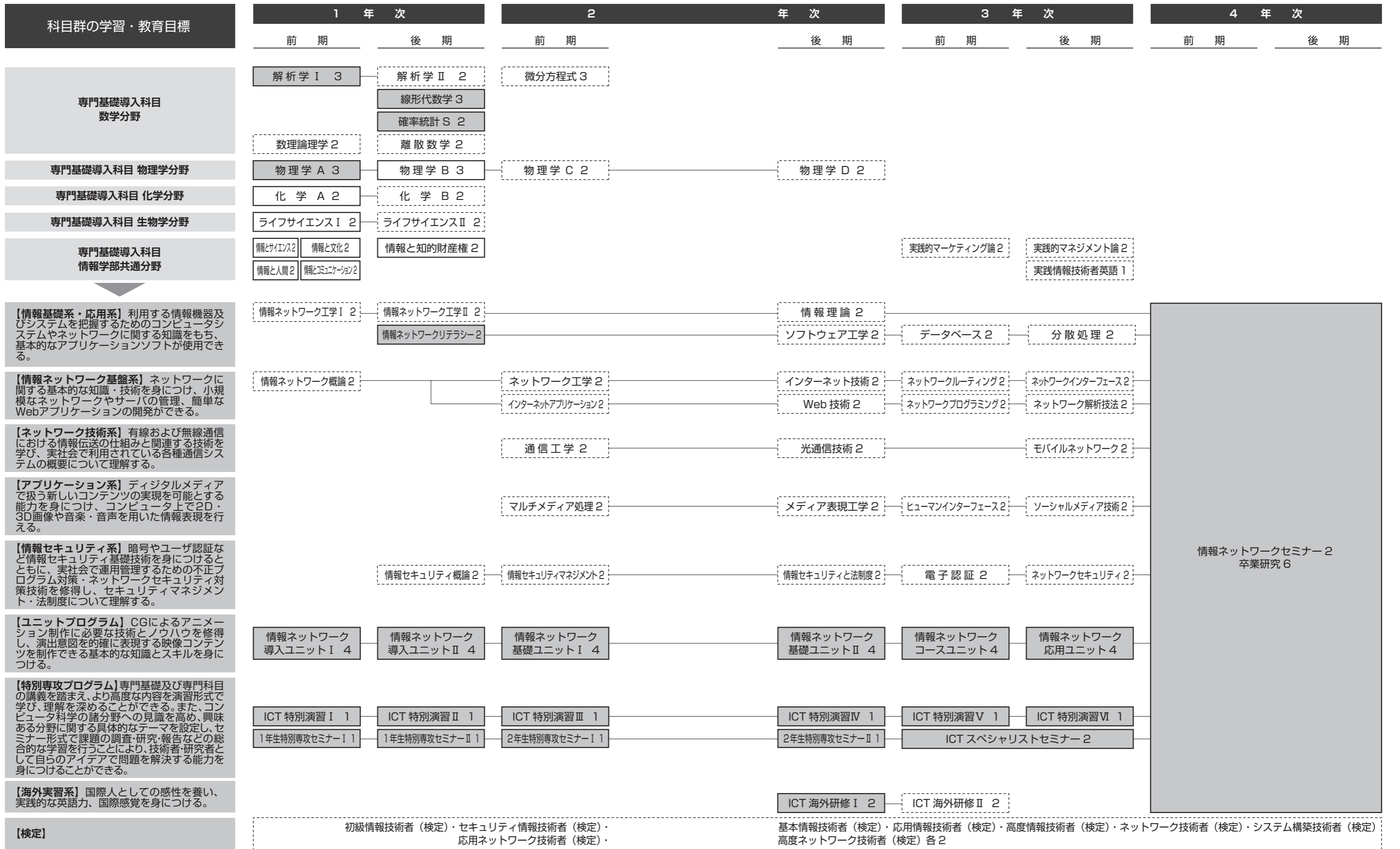
II

専門教育に関すること

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科「カリキュラムツリー」



■: 必修 □: 選択必修 □: 選択





# 情報学部 情報メディア学科 [カリキュラムツリー]

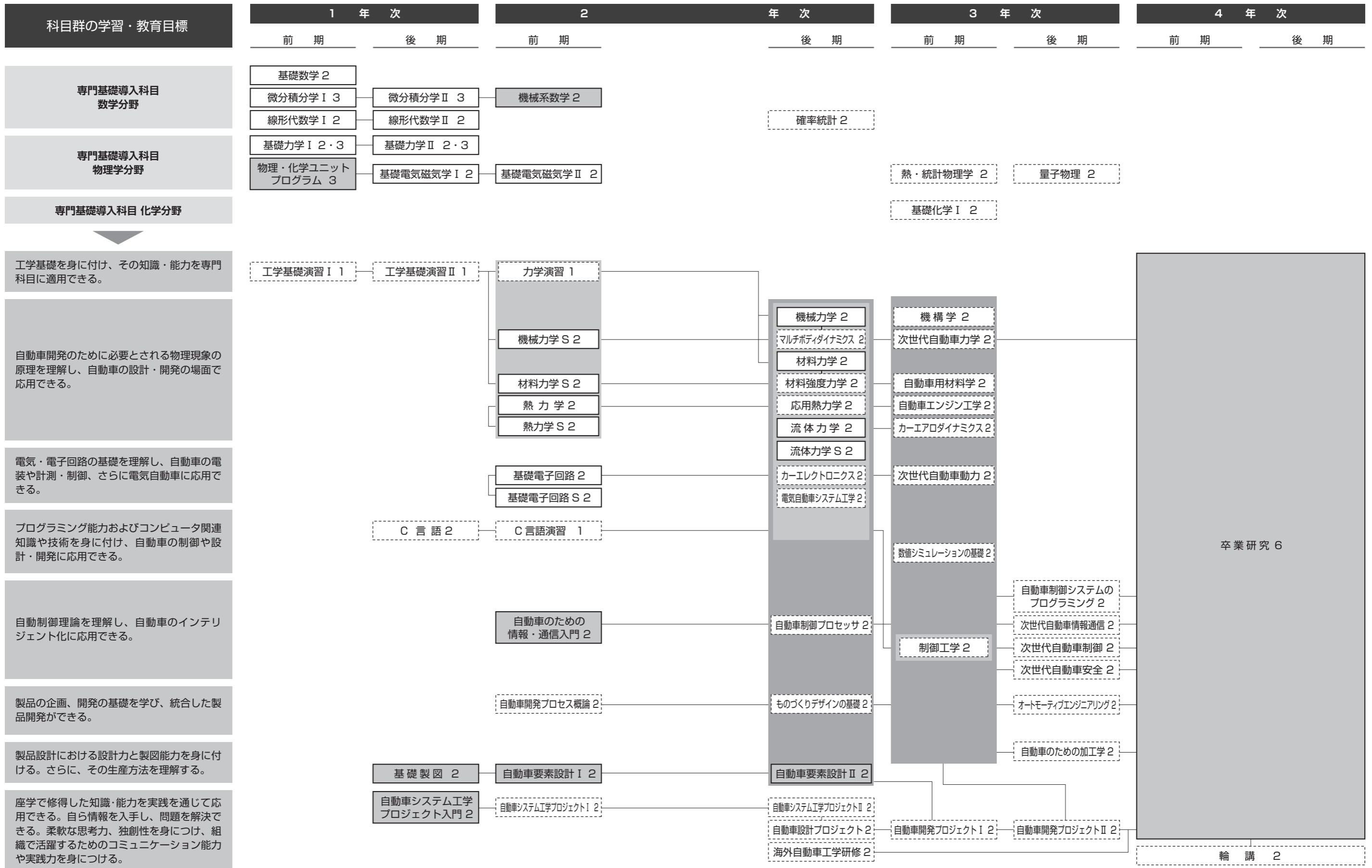
■: 必修 □: 選択

科目群の学習・教育目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
<b>専門基礎導入科目 数学分野</b>	基礎数学 2	微分積分学 I 3 線形代数学 I 2	微分積分学 II 3 線形代数学 II 2					
<b>専門基礎導入科目 情報学部共通分野</b>	数理論理学 2	離散数学 2		数理統計学 2				
<b>情報メディア基礎</b> 各種情報メディアで利用されるアプリケーションやコンテンツの制作について、演出意図を効果的に表現する基本的な知識と、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを身につける。		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2 Web 制作 2 マルチメディア入門 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2 フィジカルコンピューティング 2	実践的マーケティング論 2 実践的マネジメント論 2 実践情報技術者英語 1		
<b>情報技術基礎</b> 各種情報メディアを実現するコンピュータをはじめとする基盤技術の基本的な知識と、システムの構築に必要なハードウェアおよびソフトウェアを作成する基本的なスキルを身につける。	IT 基礎 4		計算機構成論 2 プログラミング A 3	情報理論と信号処理 2 プログラミング B 3		情報メディアプロデュース論 2 メディア・セキュリティ 2		
<b>インタラクションメディア</b> ネットワークやデータベースをはじめとするインタラクション技術を修得し、プログラミングなどの体験的演習を通して、Webアプリケーションの開発や携帯コンテンツの制作ができるスキルを身につける。			Web システム 2	コラボレイティブ Web 2	データベース 2 インタラクションデザイン 2			
<b>イメージメディア</b> 画像処理、映像処理などのヒューマンメディア技術と、高度な情報技術を身につけ、メディア技術に精通したエンジニアとしてのスキルを身につける。			画像情報処理 2	映像メディアリテラシ 2	画像認識システム 2	ヒューマンインターフェイス 2		
<b>サウンドメディア</b> 音楽・音響の両分野に精通し、多分野の音声・音響に関わる制作・編集・音響システムを構築できる技術力とオペレーションスキル、また楽曲を制作する基本的な知識とスキルを身につける。			サウンド解析 2	音楽論 2	コンピュータ音楽制作 2	サウンド情報処理 2		
<b>CGアニメータ</b> CGによるアニメーション制作に必要な技術とノウハウを修得し、演出意図を的確に表現する映像コンテンツを制作できる基本的な知識とスキルを身につける。			グラフィックス基礎論 2	CGデザイン 2	CGアニメーション 2	メディアアート 2		
<b>ゲームクリエイター</b> コンテンツ制作の基礎教育と体験的な演習を実施し、技術的な知識とコンテンツ制作に精通したゲーム分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける。			ゲームデザイン論 2	ゲームグラフィックス 2		ゲームプログラミング 2 ゲーム AI 2		
<b>キャラクタ</b> 小説、ドラマ、映画、マンガ、ロボットなどのキャラクタに関する基礎知識と体験的な演習を通し、多彩な分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける。			キャラクタ概論 I 2	キャラクタ概論 II 2	キャラクタ創作論 2	キャラクタ制作 2		
<b>ユニットプログラム</b> 情報メディアの各コースに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実践することにより、プロジェクトの進め方を修得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける。	情報メディア 基盤ユニット 4	情報メディア 導入ユニット 4	情報メディア 基礎ユニット I 2	情報メディア 基礎ユニット II 2	情報メディア 専門ユニット I 3	情報メディア 専門ユニット II 3	卒業研究 6 情報メディアセミナー 2	
<b>海外実習系</b> ゲームソフトの制作やツールの学習を通じて、国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につける。			国際情報	メディア実習 1	海外情報メディア研修 I 2 海外情報メディア研修 II 2 海外情報メディア研修 III 2			
<b>目的別プログラム</b> 実在する情報メディアシステムで利用できるアプリケーションやコンテンツを制作する。具体的な目標の実現に必要な知識やスキルの修得と、それらを実践して具体的な成果物を作成することで、自主的、能動的な学習力と実践力を身につける。			メディア	実践講座 2	ゲームクリエイター特訓 I~IV / プロダクション CG クリエーター特訓 I~II / キャラクタークリエイター特訓 I~II 各 1			
<b>資格系</b> 社会的に認められた資格取得に必要な知識を身につける。			プロジェクト	研究 I~VI 各 1				
<b>検 定</b>			IT 応用 2					
	メディア技術者 (検定) / 初級情報技術者 (検定) /			基本情報技術者 (検定) / 応用情報技術者 (検定) / 高度情報技術者 (検定) / システム構築技術者 (検定) 各 2				

科目群の学習・教育目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
専門基礎導入科目 数学分野	解析学 I 3	解析学 II 2 線形代数学 3 確率統計 S 2	微分方程式 3					
専門基礎導入科目 物理学分野	物理学 A 3	物理学 B 3	物理学 C 2	物理学 D 2				
専門基礎導入科目 化学分野	化学 A 2	化学 B 2						
専門基礎導入科目 生物学分野	ライフサイエンス I 2	ライフサイエンス II 2						
専門基礎導入科目 情報学部共通分野	情報と人間 2 情報とコミュニケーション 2	情報と知的財産権 2						
【情報メディア基礎】各種情報メディアで利用されるアプリケーションやコンテンツの制作について、演出意図を効果的に表現する基本的な知識と、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを身につける。		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2 Web制作 2 マルチメディア入門 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2 フィジカルコンピューティング 2	情報メディアプロデュース論 2		
【情報技術基礎】各種情報メディアを実現するコンピュータをはじめとする基盤技術の基本的な知識と、システムの構築に必要なハードウェアおよびソフトウェアを作成する基本的なスキルを身につける。	IT基礎 4		計算機構成論 2 プログラミング A 3	情報理論と信号処理 2 プログラミング B 3		メディア・セキュリティ 2		
【インタラクションメディア】ネットワークやデータベースをはじめとするインタラクション技術を修得し、プログラミングなどの体験的演習を通して、Webアプリケーションの開発や携帯コンテンツの制作ができるスキルを身につける。			Webシステム 2	コラボレイティブ Web 2	データベース 2 インタラクションデザイン 2			
【イメージメディア】画像処理、映像処理などのヒューマンメディア技術と、高度な情報技術を身につけ、メディア技術に精通したエンジニアとしてのスキルを身につける。			画像情報処理 2	映像メディアリテラシ 2	画像認識システム 2	ヒューマンインターフェース 2		
【サウンドメディア】音楽・音響の両分野に精通し、多分野の音声・音響に関わる制作・編集・音響システムを構築できる技術力とオペレーションスキル、また楽曲を制作する基本的な知識とスキルを身につける。			サウンド解析 2	音楽論 2	コンピュータ音楽制作 2	サウンド情報処理 2		
【CGアニメータ】CGによるアニメーション制作に必要な技術とノウハウを修得し、演出意図を的確に表現する映像コンテンツを制作できる基本的な知識とスキルを身につける。			グラフィックス基礎論 2	CGデザイン 2	CGアニメーション 2	メディアアート 2		
【ゲームクリエイター】コンテンツ制作の基礎教育と体験的な演習を実施し、技術的な知識とコンテンツ制作に精通したゲーム分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける。			ゲームデザイン論 2	ゲームグラフィックス 2		ゲームプログラミング 2 ゲーム AI 2		
【キャラクタ】小説、ドラマ、映画、マンガ、ロボットなどのキャラクタに関する基礎知識と体験的な演習を通じ、多彩な分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける。			キャラクタ概論 I 2	キャラクタ概論 II 2	キャラクタ創作論 2	キャラクタ制作 2		
【ユニットプログラム】情報メディアの各コースに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実践することにより、プロジェクトの進め方を修得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける。	情報メディア 基盤ユニット 4	情報メディア 導入ユニット 4	情報メディア 基礎ユニット I 2	情報メディア 基礎ユニット II 2	情報メディア 専門ユニット I 3	情報メディア 専門ユニット II 3		
【特別専攻プログラム】専門基礎及び専門科目の講義を踏まえ、より高度な内容を演習形式で学び、理解を深めることができる。また、コンピュータ科学の諸分野への見識を高め、興味ある分野に関する具体的なテーマを設定し、セミナー形式で課題の調査・研究・報告などの総合的な学習を行うことにより、技術者・研究者として自らのアイデアで問題を解決する能力を身につけることができる。	ICT 特別演習 I 1 1年生特別専攻セミナー I 1	ICT 特別演習 II 1 1年生特別専攻セミナー II 1	ICT 特別演習 III 1 2年生特別専攻セミナー I 1	ICT 特別演習 IV 1 2年生特別専攻セミナー II 1	ICT 特別演習 V 1 ICT スペシャリストセミナー 2	ICT 特別演習 VI 1		
【海外実習系】ゲームソフトの制作やツールの学習を通じて、国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につける。			国際情報	メディア実習 1 ICT 海外研修 I 2	ICT 海外研修 II 2			
【目的別プログラム】実在する情報メディアシステムで利用できるアプリケーションやコンテンツを制作する。具体的な目標の実現に必要な知識やスキルの修得と、それらを実践して具体的な成果物を作成することで、自主的、能動的な学習力と実践力を身につける。			メディア	実践講座 2 ゲームクリエイター特訓 I~IV / プロダクション CG クリエーター特訓 I~II / キャラクタークリエイター特訓 I~II 各 1				
【資格系】社会的に認められた資格取得に必要な知識を身につける。			IT 応用 2					
【検定】			メディア技術者 (検定) / 初級情報技術者 (検定) /	基本情報技術者 (検定) / 応用情報技術者 (検定) / 高度情報技術者 (検定) / システム構築技術者 (検定) 各 2				

# 創造工学部 自動車システム開発工学科（一般コース）[カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択

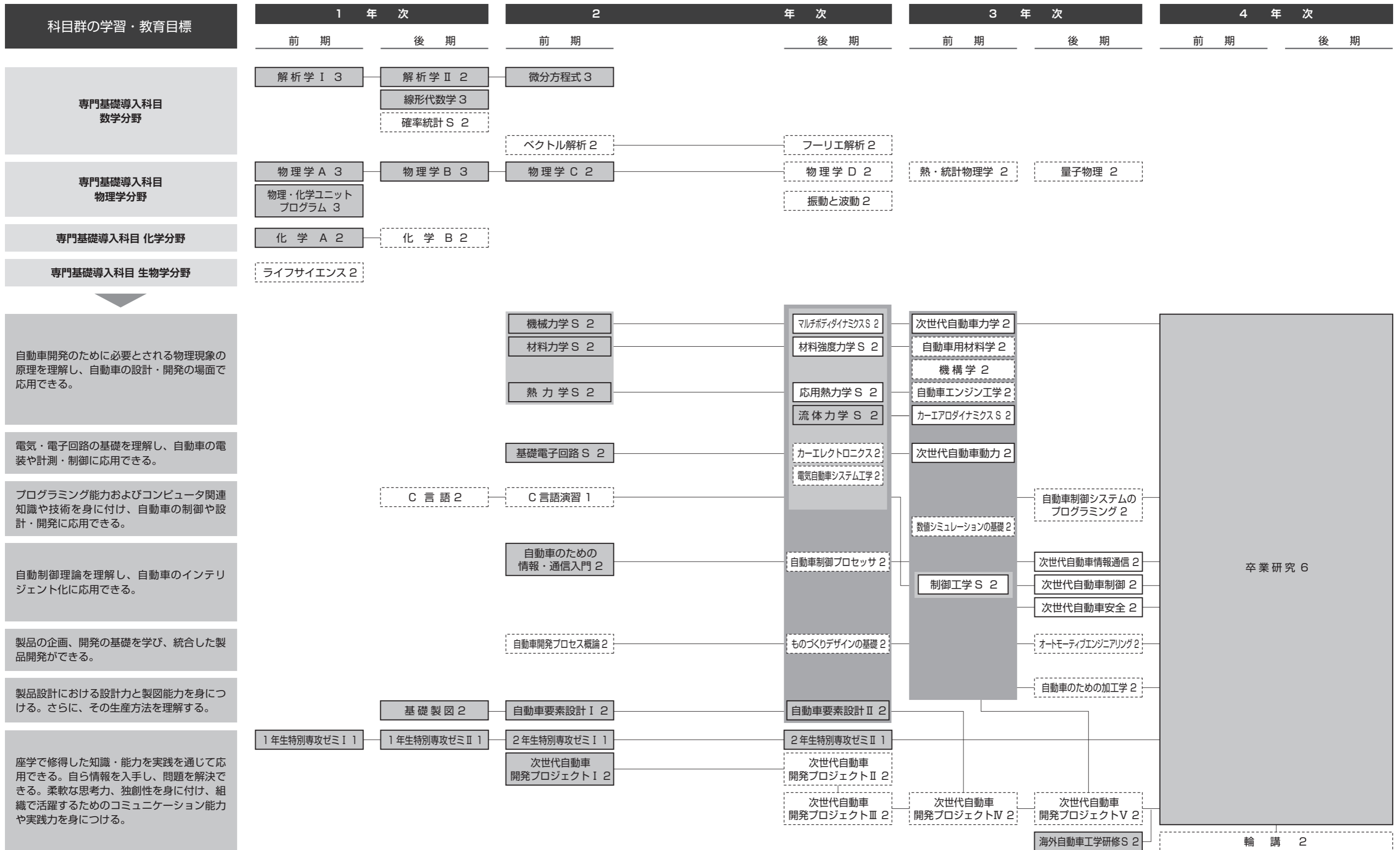


## II

専門教育に関すること

創造工学部 自動車システム開発工学科 [カリキュラムツリー]

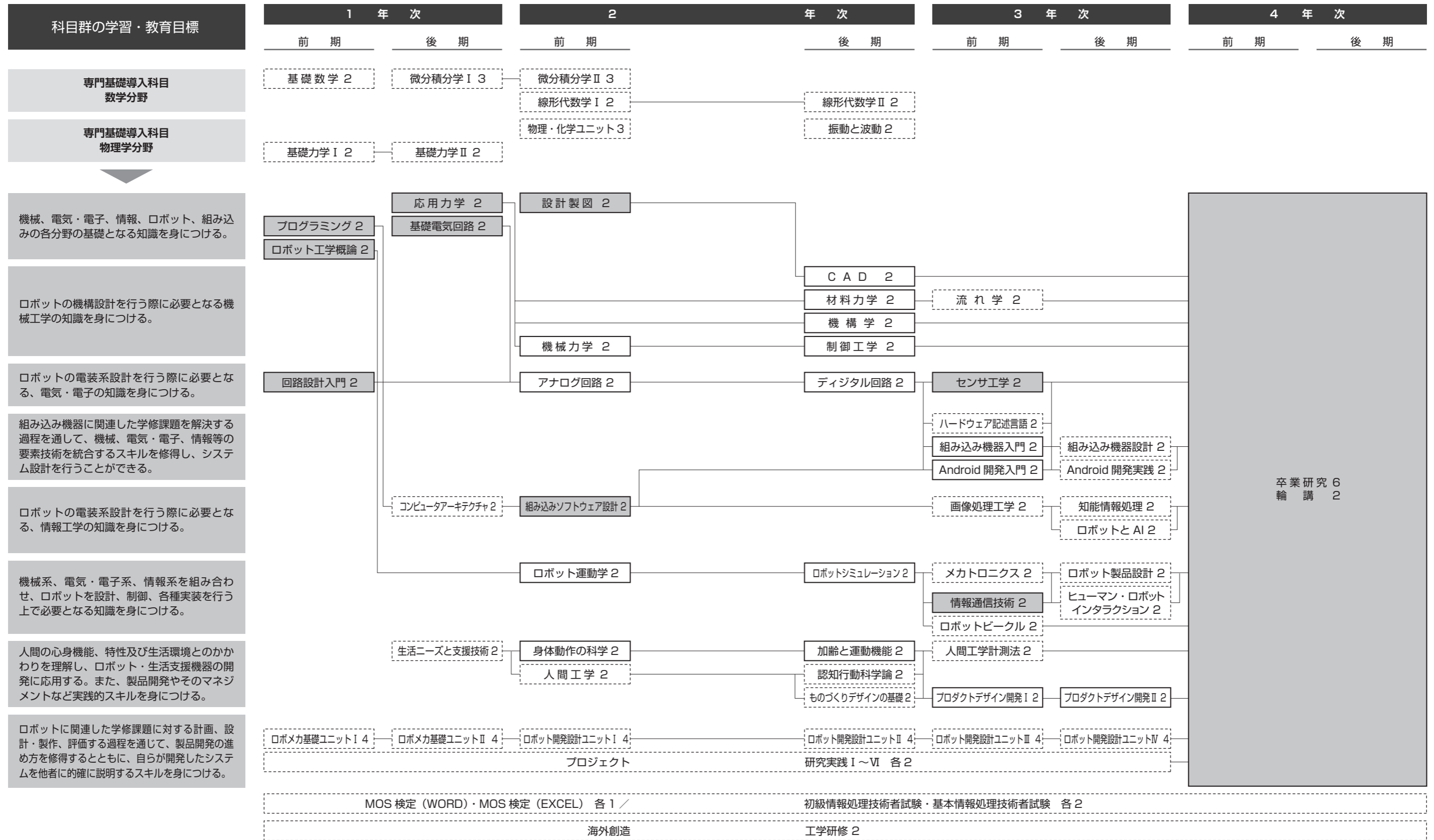
■: 必修 □: 選択必修 □: 選択





創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科 [カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択必修 □: 選択

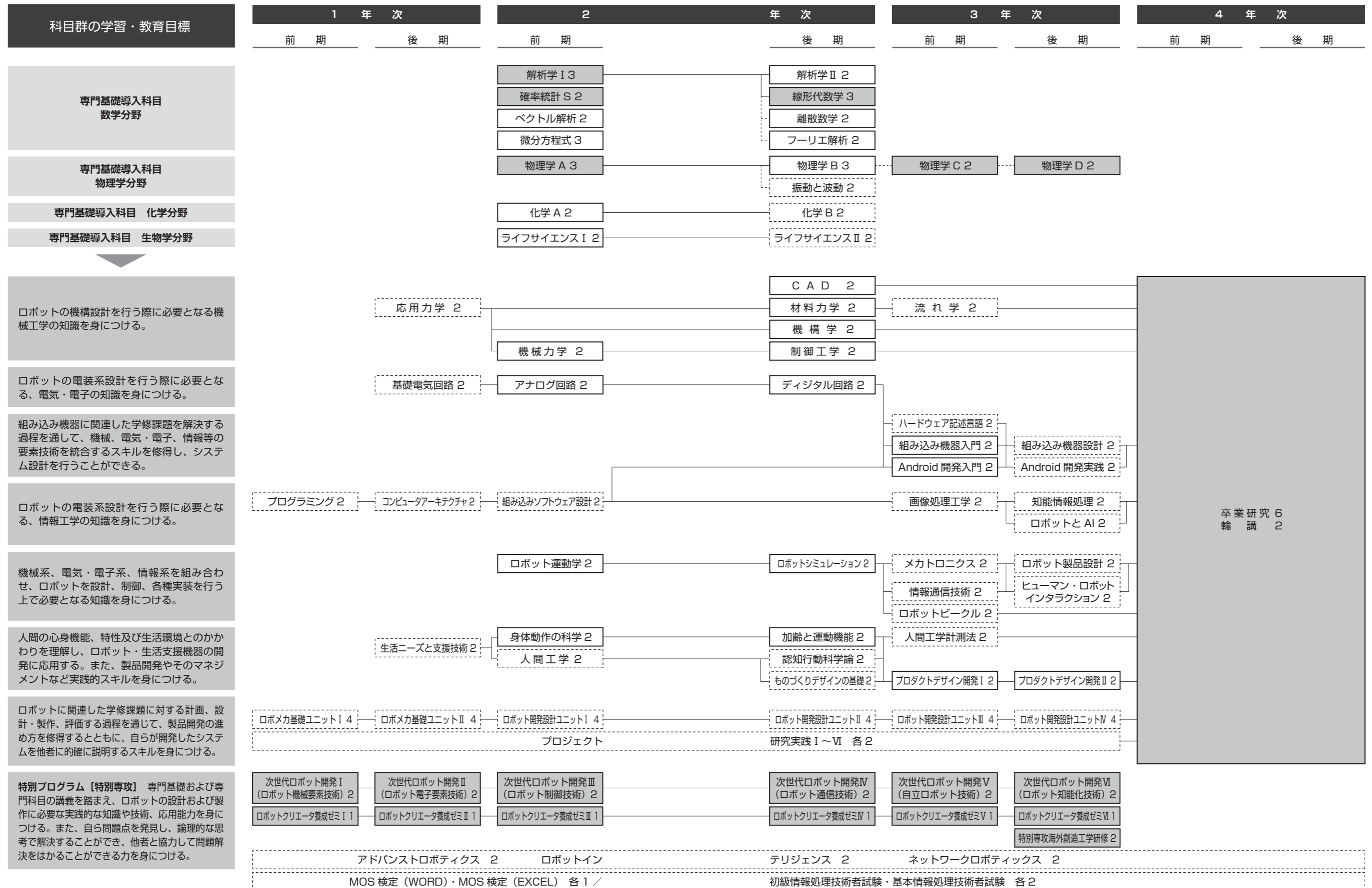




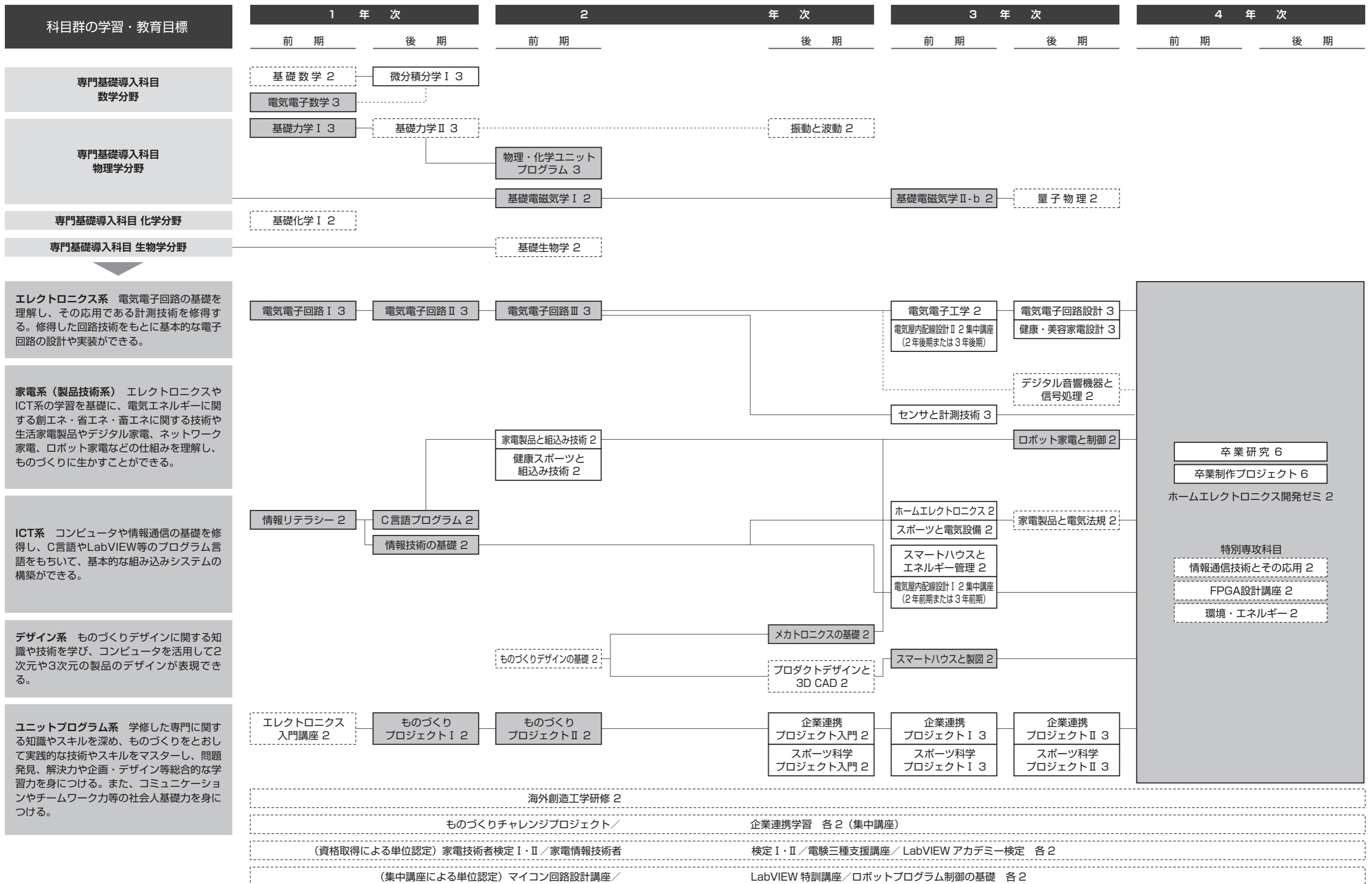
■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



卒業研究 6  
輪 講 2



■: 必修 □: 選択必修 □: 選択

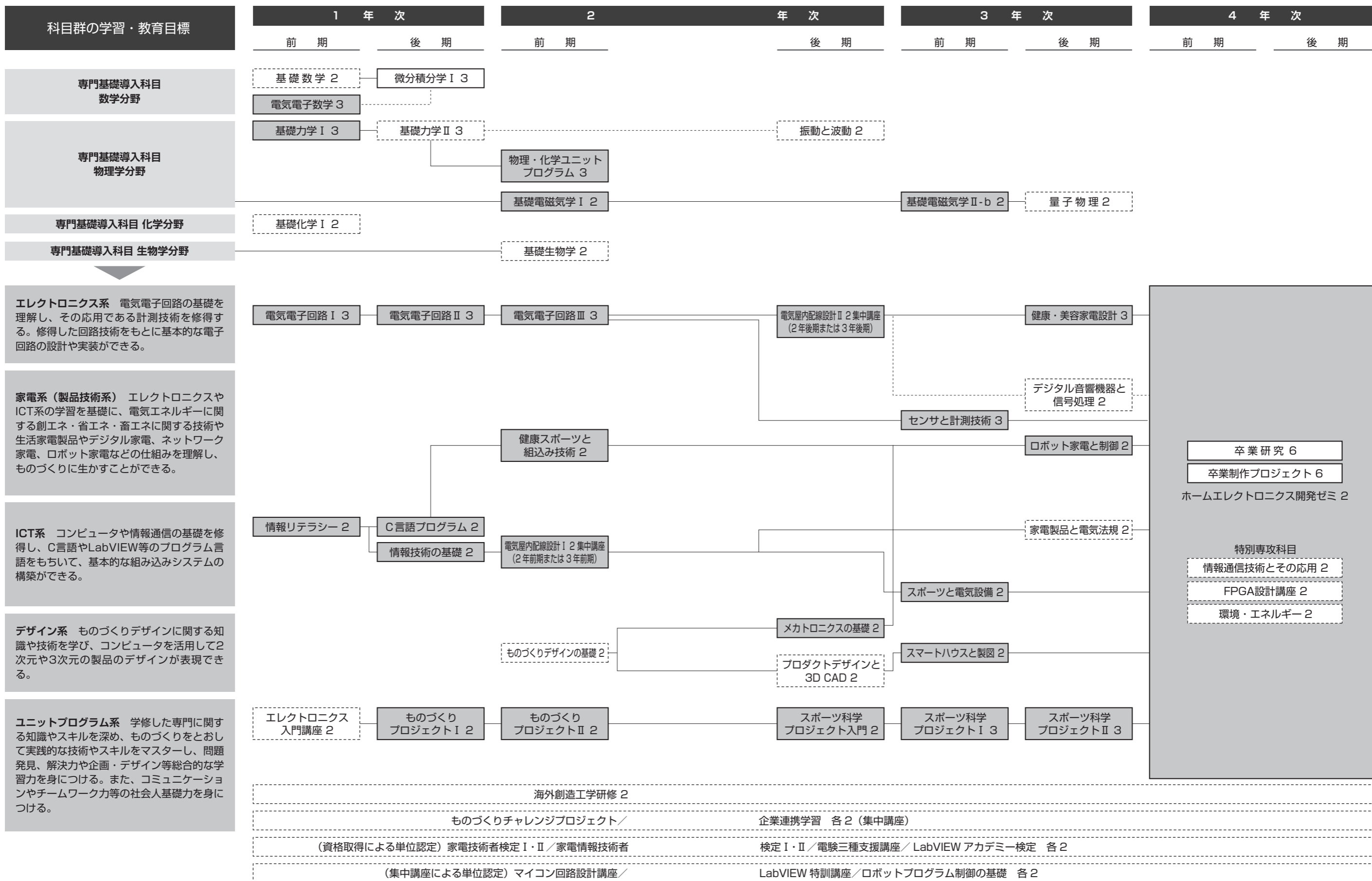


卒業研究 6  
卒業制作プロジェクト 6  
ホームエレクトロニクス開発ゼミ 2

特別専攻科目  
情報通信技術とその応用 2  
FPGA設計講座 2  
環境・エネルギー 2

II 専門教育に関する事項 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科 [カリキュラムツリー]

■ : 必修 □ : 選択必修 □ : 選択

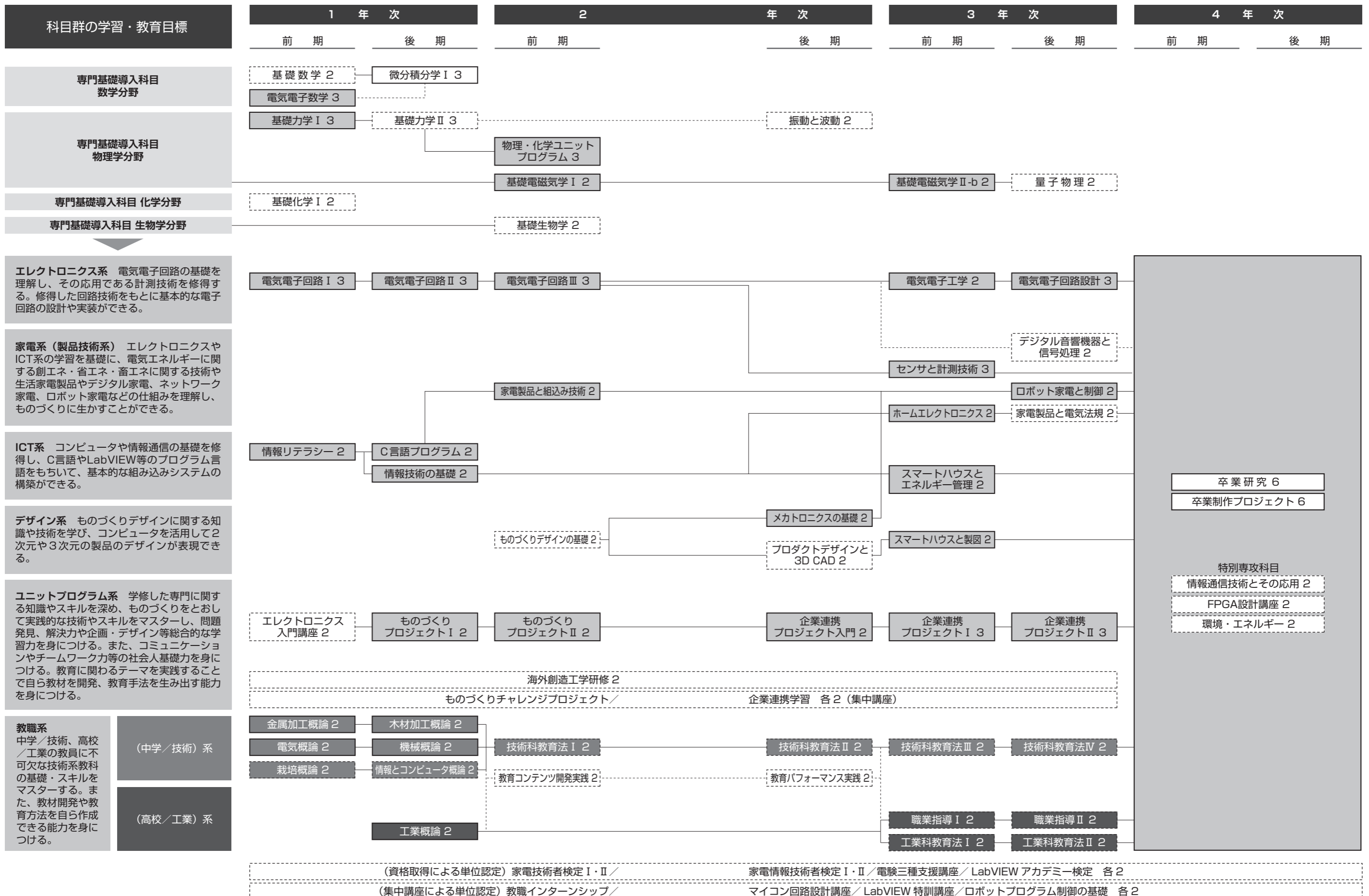


卒業研究 6  
卒業制作プロジェクト 6  
ホームエレクトロニクス開発ゼミ 2

特別専攻科目  
情報通信技術とその応用 2  
FPGA設計講座 2  
環境・エネルギー 2

II 専門教育に関する事項 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科「カリキュラムツリー」







科目群の学習・教育目標

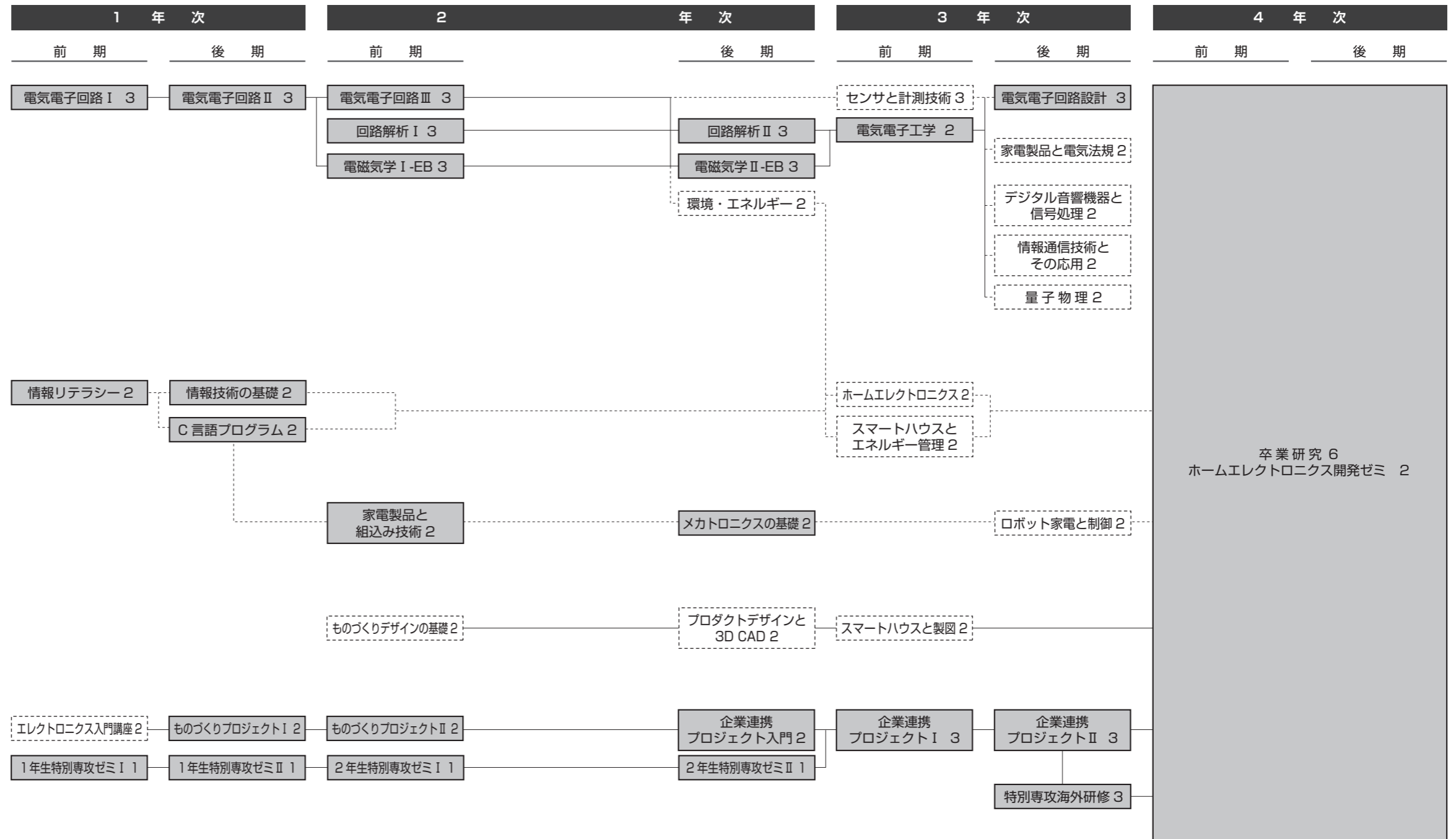
**電気電子系** 電気電子工学に関する基礎を理解でき、それを応用する計測制御、信号処理、照明に関するハードウェア技術等を身につける。また発展的な(高度な)電気電子工学理論を学習することができる。

**情報系** コンピュータやネットワークの仕組みを理解でき、プログラム言語や組み込み技術をマスターし、ハードウェア技術を修得するとともに、家電を含めた電気電子機器の制御を行うことができる。

**機構材料系** 家電を含めた電気電子機器における機構、材料、熱や流体に関する基礎的な知識を身につけ、電気電子技術や情報技術を修得するとともに、電気電子機器の全体性能を把握できる。

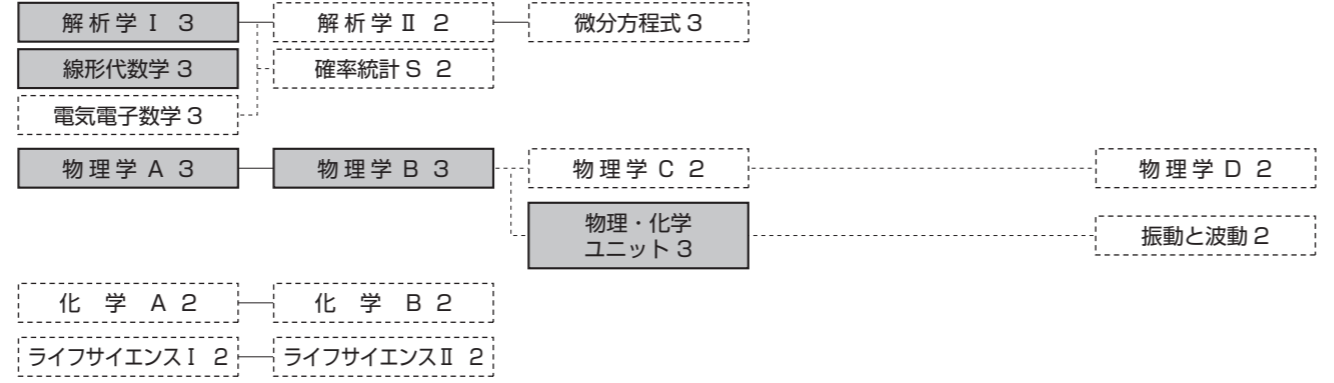
**デザインと商品開発** 工業製品のデザインに関する基礎知識を学び、コンピュータ上で2次元や3次元の簡単な製品のデザインを表現することができる。

**ユニットプログラム・特別ゼミ・海外研修** 自然科学や専門に関する知識を深め、実践的な技術やスキルをマスターし、問題発見、解決力や企画・デザイン等総合的な学習力を身につける。また、コミュニケーション力や協調力等の社会人基礎力を身につける。また、実践的なプロジェクトや海外での実習体験を通してグローバルな物の考え方を身につける。



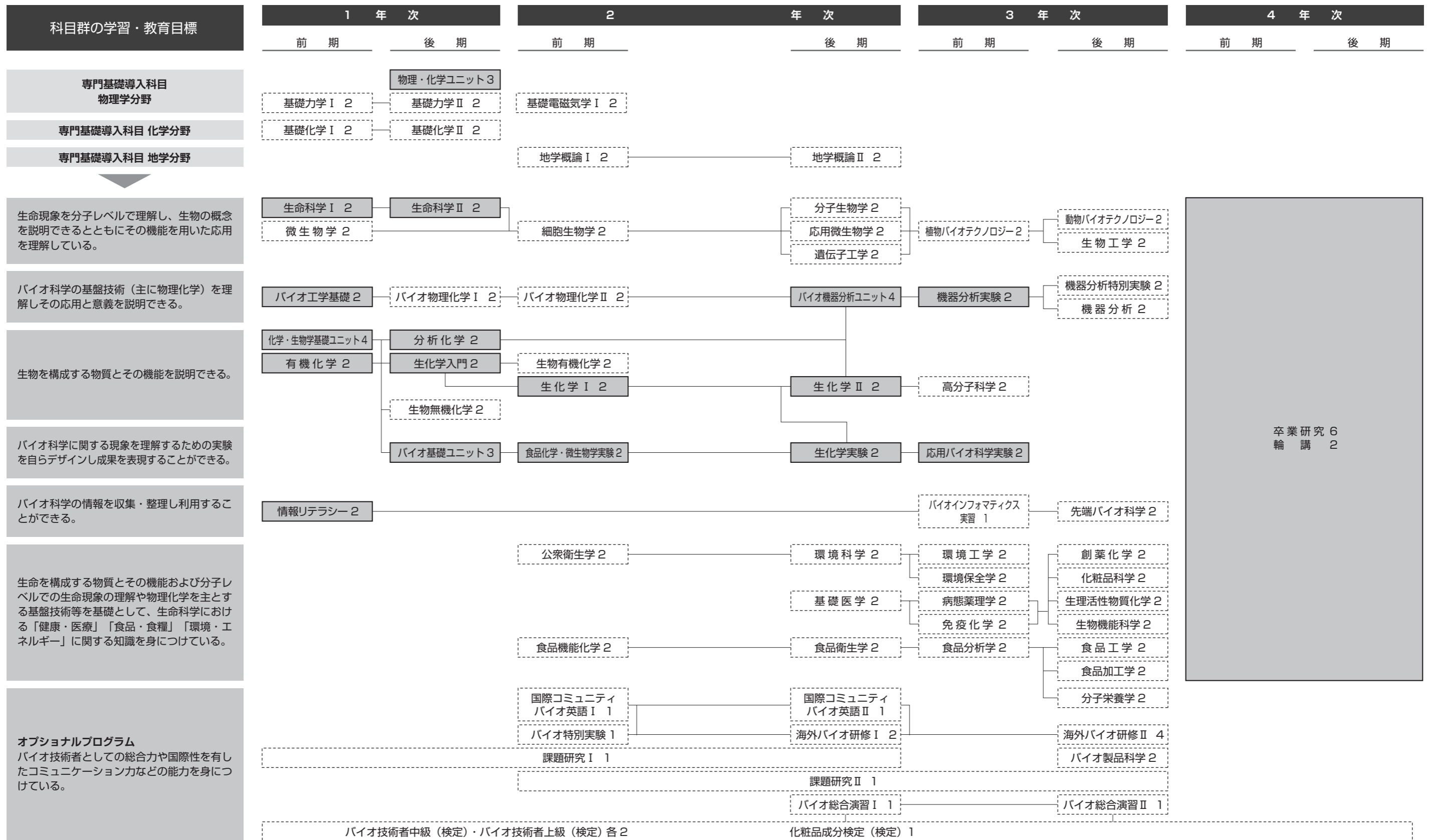
(資格取得による単位認定) 家電技術者検定 I・II / 家電情報技術者検定 I・II / LabVIEW アカデミー検定 / 電験三種支援講座 各 2  
 (集中講座による単位認定) ものづくりチャレンジプロジェクト / 企業連携学習 / マイコン回路設計講座 / LabVIEW 特訓講座 / FPGA 設計講座 各 2 / ロボットプログラム制御の基礎 1

- 専門基礎導入科目 数学分野
- 専門基礎導入科目 物理学分野
- 専門基礎導入科目 化学分野
- 専門基礎導入科目 生物学分野



# 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 [カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択



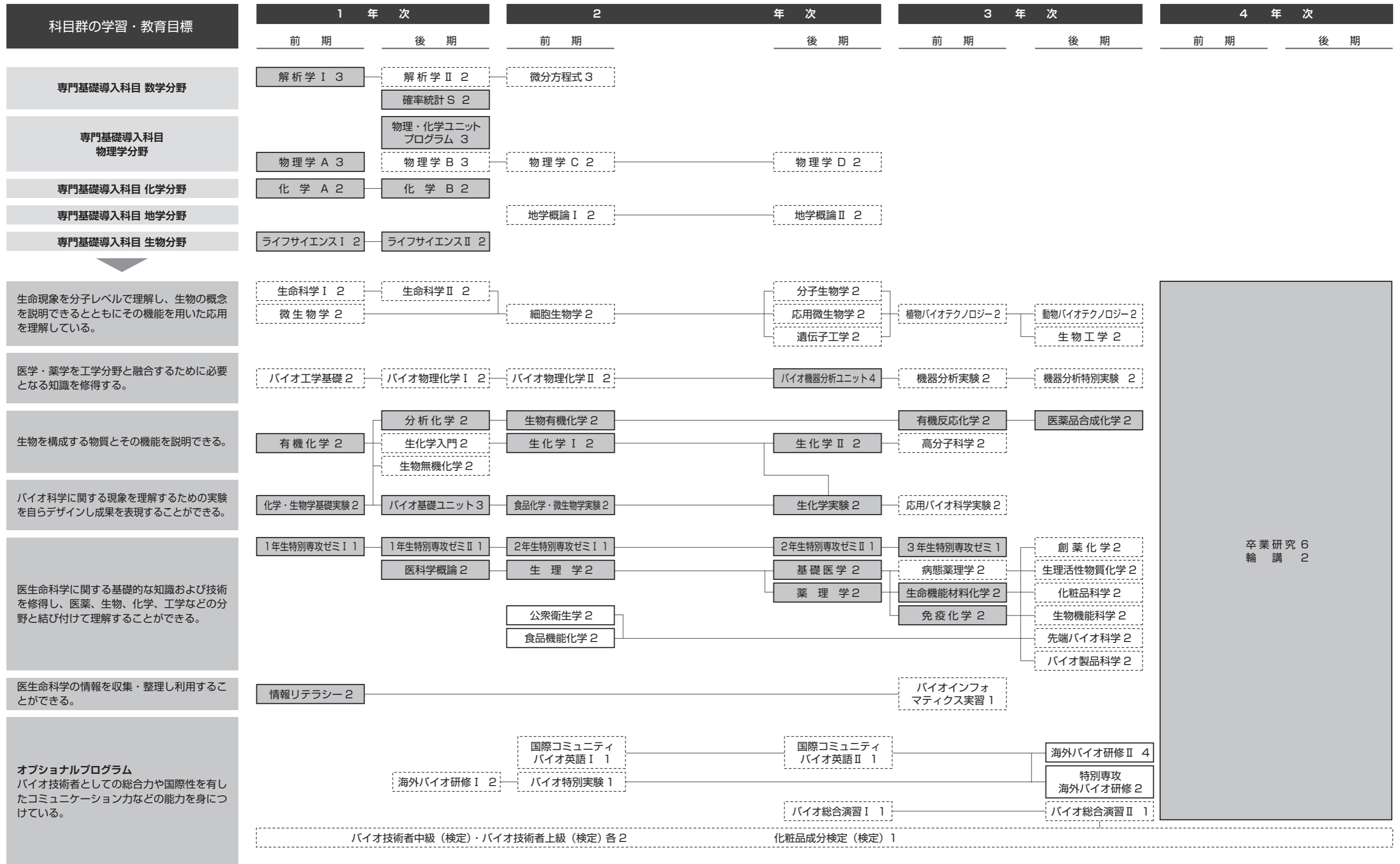
卒業研究 6  
輪 講 2

## II

専門教育に関すること

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 [カリキュラムツリー]

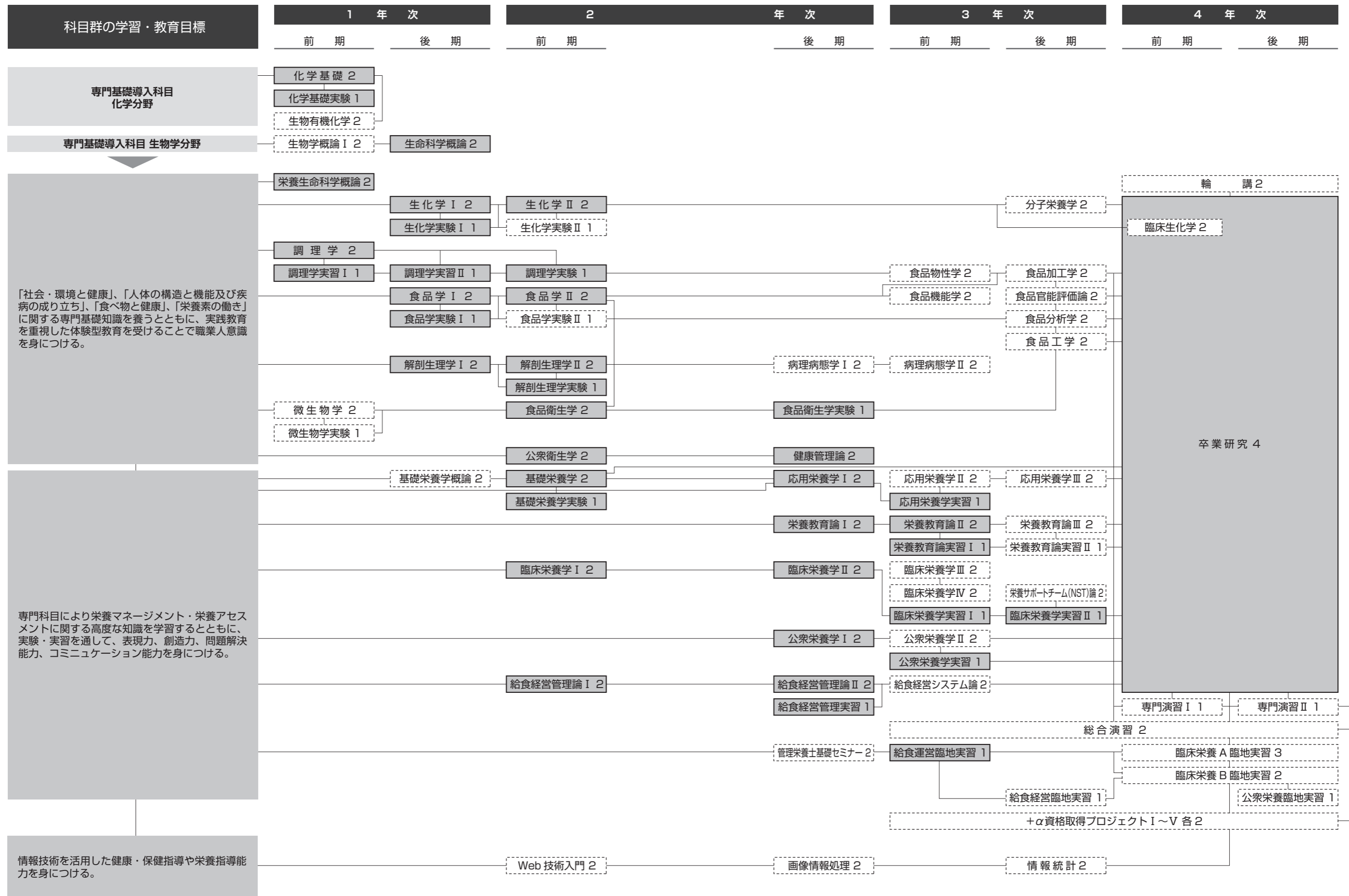
■: 必修 □: 選択必修 □: 選択



卒業研究 6  
輪 講 2

# 応用バイオ科学部 栄養生命科学科 [カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択



## II

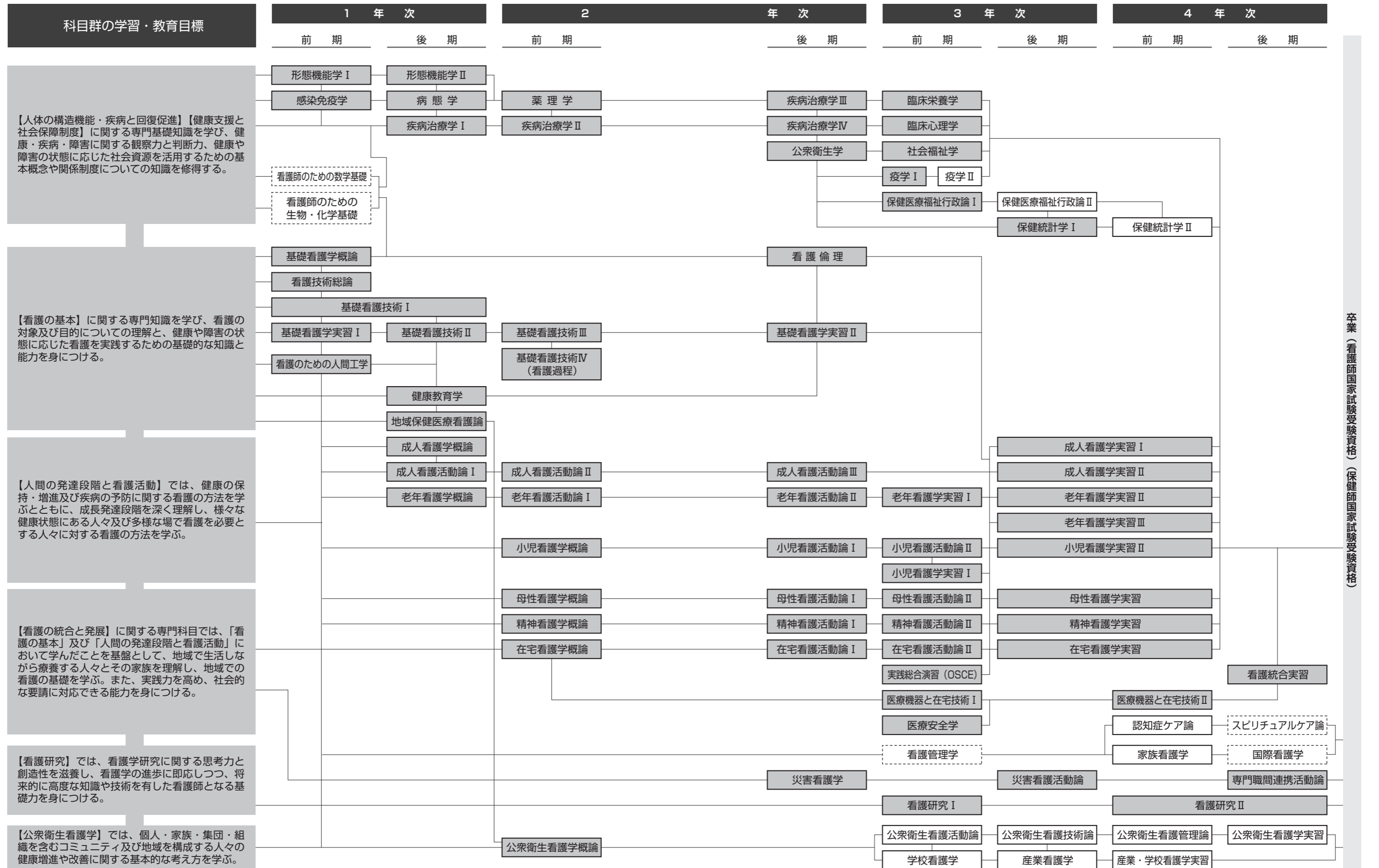
専門教育に関すること

応用バイオ科学部 栄養生命科学科「カリキュラムツリー」

卒業 (栄養士免許取得・管理栄養士国家試験受験資格)

# 看護学部 看護学科 [カリキュラムツリー]

■: 必修 □: 選択 □: 保健師必須科目



## II

専門教育に関すること

看護学部 看護学科 [カリキュラムツリー]

卒業（看護師国家試験受験資格）（保健師国家試験受験資格）



# Stop the CO<sub>2</sub> プログラム [カリキュラムツリー]

